

令和8年度 教育要覧

戸田市の教育



～ 好きを育み 得意を伸ばす とだの教育 ～

戸 田 市 教 育 委 員 会

発刊によせて

令和８年度の教育要覧『戸田市の教育』の発刊にあたり、日ごろより本市教育行政の発展にご理解とご協力をいただいておりますことに、あらためて御礼申し上げます。

戸田市教育委員会では、これまで積み上げてきた教育改革の成果をさらに深化させるとともに、本年度も常に先の時代を見据えた教育に取り組み、次代を担う戸田っ子たちが予測困難な未来社会を生き抜く力を育成できるよう支援していきます。そして、義務教育の９年間の土台としつつ、生涯に渡って豊かな学びを続けるため、市民の誰もが学び続けることのできる機会を創出することを目指していきます。

本要覧は、本市における教育行政全般、各教育機関及び学校の諸活動について概要をまとめたものです。「主な実施事業」の他に本年度特に注力している取組等を「Topic」として表示しています。戸田市の教育施策と現状をご理解いただく一助として皆様にご活用いただきますとともに、今後も本市の教育に対し、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和８年９月吉日

戸田市教育委員会

教育長 戸ヶ崎 勤

目次

1 教育行財政	1
1 - 1 教育委員会 教育長・委員	2
1 - 2 教育委員会 行政組織図	2
1 - 3 教育委員会 事務分掌	3
1 - 4 教育振興に関する大綱・教育振興計画	4
1 - 5 歳出予算内訳	8
2 教育委員会事務局	10
2 - 1 教育総務課	11
主な実施事業	11
Topic: 中学校武道場のエアコン設置	13
2 - 2 学務課	14
主な実施事業	14
Topic: 学校における働き方改革の推進	15
2 - 3 教育政策室	16
主な実施事業	16
Topic: 第5次戸田市教育振興計画がスタートしました	18
2 - 4 学校給食課	19
主な実施事業	19
Topic: 小・中学生の学校給食費無償化	21
2 - 5 生涯学習課	22
主な実施事業(生涯学習担当)	22
Topic(生涯学習担当): 戸田市生涯学習推進ビジョン	23
主な実施事業(公民館)	24
Topic(公民館): 公民館・人生100年応援コース(戸田市民大学)	26
主な実施事業(図書館)	27
Topic(図書館): 新たな貸出拠点の開設記念イベントの実施	28
主な実施事業(郷土博物館)	29
Topic(郷土博物館): 市制施行60周年 企画展「戸田市のあゆみ～市制60年をむかえて～」開催	30
主な実施事業(彩湖自然学習センター)	30
Topic(彩湖自然学習センター): 博学連携事業	31
2 - 6 文化スポーツ課(市長部局)	32
主な実施事業	32
Topic: 「市民で創る第九コンサート」の開催	35

<i>Topic: 戸田市スポーツセンター再整備事業</i>	35
2 - 7 こども・若者政策課(市長部局).....	36
主な実施事業	36
<i>Topic: プレーパーク事業</i>	38
3 戸田市立小学校・中学校の紹介	40
4 参考資料.....	50
4 - 1 教育施設一覧.....	51
4 - 2 市内学区一覧	53

1 教育行財政

1 - 1 教育委員会 教育長・委員



教 育 長
戸ヶ崎 勤



教育長職務代理者
仙波 憲一



委 員
木村 雅文

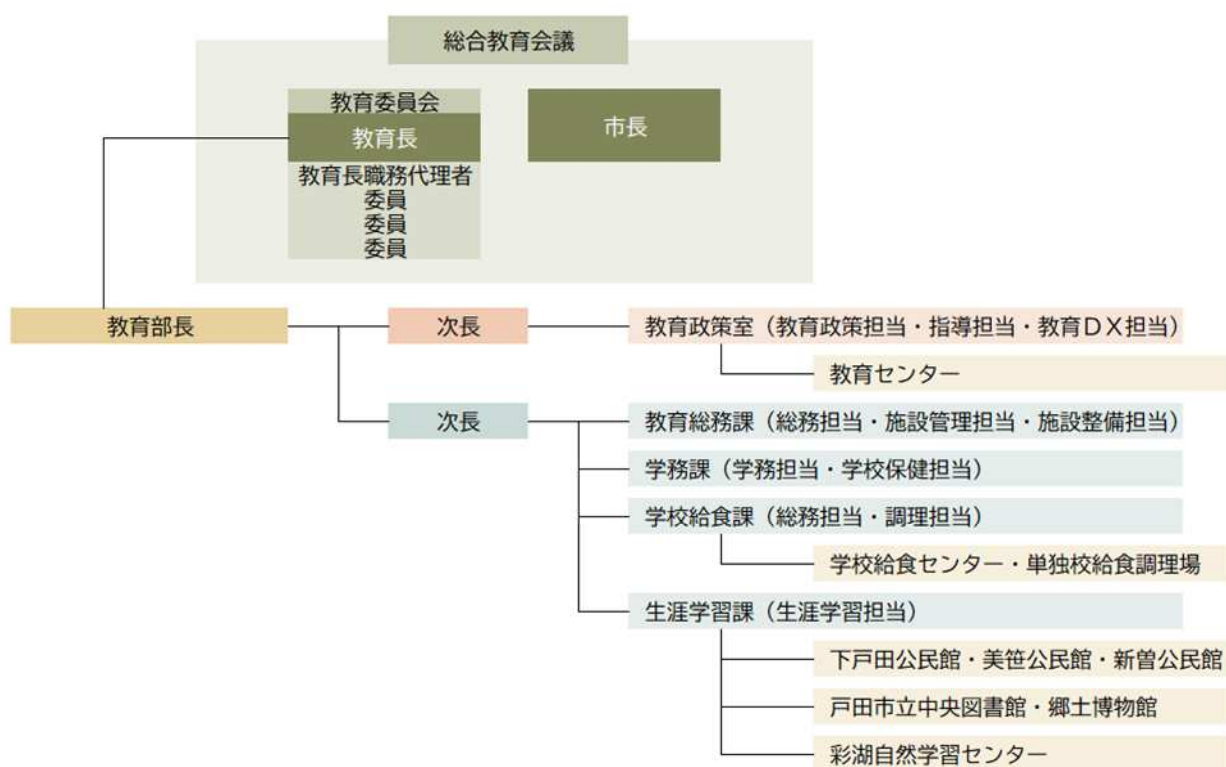


委 員
長道 修



委 員
浜田 美咲

1 - 2 教育委員会 行政組織図



1 - 3 教育委員会 事務分掌

所管課		主な事務分掌
教育委員会事務局	教育総務課	教育委員会会議、教育長秘書、教育委員会事務局総括、入学準備金・奨学資金貸付、未来へはばたく人財育成資金給付、海外留学奨学資金給与、小・中学校施設の備品・消耗品購入、各種工事・修繕、業務委託、事務機器賃貸借等に係る業務
	学務課	教職員等人事・服務管理、児童生徒の就学・転出入事務、通学区域・通学路、就学援助費・特別支援教育就学奨励費、教科用図書無償給与、学齢簿の編製・保管、児童生徒・教職員の健康管理、学校保健会・学校保健管理、学校教育関係の調査・統計、日本スポーツ振興センター等に係る業務
	教育政策室	学校訪問、研究委嘱、生徒指導、進路指導・キャリア教育、校外行事への指導、副読本の編集・活用、各種研修会、教育DX、情報教育、国際理解教育、教育相談、就学支援、特別支援教育、適応指導教室、発達支援、教育広報「とだ」の刊行、教育センター管理運営等、学校応援団、教育センター教科等研究グループ等に係る業務
	学校給食課	学校給食の計画、栄養管理、給食の調理及び配送、学校給食を活用した食育、給食センター及び単独校調理場の管理運営等に係る業務
	生涯学習課	生涯学習の推進、生涯学習関連講座・事業実施、社会教育・家庭教育講座、人権教育の推進、芦原小学校生涯学習施設管理運営、学校運営協議会、公民館事業等に係る業務 [図書館]資料の貸出返却・閲覧、読書案内、調査研究支援、集会及び文化活動の企画開催、視聴覚教材等の貸出、資料の選択・収集・整理・修理等に係る業務 [郷土博物館]資料の収集・保存・展示、調査研究、地域文書・文献の収集・整理・管理、市史等の頒布及び管理、彩湖自然学習センター及びアーカイブス・センターの運営管理、文化財の保護等に係る業務
市長部局	市長公室	総合教育会議に係る事務
	文化スポーツ課	スポーツの企画調整、体育施設設置・管理、体育施設使用許可・使用料徴収、学校開放、スポーツ関係団体に関すること、スポーツセンターに関すること、芸術及び文化活動の振興に関すること、文化会館に関すること等に係る業務
	こども・若者政策課	こども・若者支援の企画・調整、青少年健全育成、青少年団体、青少年問題協議会、成人式、児童センターに係る業務
	子育て支援課	学童保育室、放課後子ども教室の推進、こども医療費、児童手当等に係る業務
	保育幼稚園課	私立幼稚園関連補助金に係る業務

戸田市教育大綱

■はじめに

人づくりはまちづくりの礎であり、私は市長就任以来、常に教育に重点を置き市政を担ってまいりました。

全国的に急激な少子化が進む中、本市においても年々出生数が減少し、学校や地域コミュニティなど、子どもたちを取り巻く環境が大きく変わりつつあります。「戸田市で子育てがしたい、戸田市で成長していきたい」、多くの人たちにそう思っていたくためにも、社会の変化や世の中のニーズに的確に対応した教育施策の重要性を改めて深く認識しているところです。

社会情勢が複雑化し、不確実性が高まる中であっても、私たちは世界にしっかりと目を向け、子ども一人ひとりの個性を大切にしながら、自己肯定感を育み、将来、国際社会においても主体的に活躍できる人材の育成を支えていく責務があります。また、AIをはじめとする技術が急速に進展する時代だからこそ、人間性や他者を思いやる心を大切に、どのような状況にあっても自ら考え、困難を乗り越えていく力を育むことが、これまで以上に求められています。

この時代の変化は、課題だけでなく未来への大きな可能性も示しています。技術の進歩により、いつでも、どこでも、誰とでもつながることができる社会が実現し、子どもたちの将来の選択肢は、自らの意志と行動によって大きく広げることができる時代となりました。さらに、令和5年4月に施行された「こども基本法」により、全てのこどもや若者が将来にわたって幸福に暮らせる社会の実現に向け、社会全体で子どもたちを支え、後押ししていく機運が一層高まっています。

一方、人生100年時代を迎え、世代を問わず誰もが文化・芸術・スポーツなどの活動を通じて自己を磨き、生涯にわたって学ぶ喜びを分かち合える、自己実現の機会と活気に満ちた地域社会づくりが求められています。

前大綱策定から5年が経過し、こうした時代の潮流や社会状況を踏まえ、このたび戸田市では、教育大綱を改訂いたしました。教育現場において質の高い教育が着実に実践されること、そして、その基盤となる環境を行政が責任をもって整備すること—この二つが相互に連携し、効果的に機能するための指針として、本大綱が重要な役割を果たすものと考えております。

新たな大綱では、前大綱の基本的な考え方を踏襲しつつ、子どもたちの意見も踏まえ、基本方針として『共に「はぐくみ まもり むすぶ」教育のまち 戸田』を掲げ、3つの柱に基づく6つの重点目標を定めました。

■基本方針の実現に向けて

この戸田市教育大綱は、市政運営の最も基本となる計画である「戸田市第5次総合振興計画」の将来都市像「『このまちで良かった』みんな輝く 未来共創のまち とだ」及び、基本目標Ⅰ「こどもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち」基本目標Ⅱ「創造性や豊かな心を育むまち」を受けたものとなっています。

また、このたび策定した「第5次戸田市教育振興計画」では、これまで数多くの成果を上げてきた本市の教育改革を踏まえ、「好きを育み 得意を伸ばす とだの教育」の教育理念のもと未知なる教育改革に挑むことで、「自らの人生を舵取りすることができる、民主的で持続可能な社会の創り手」を育成することを目指し、先進的な取組を推進することとしています。

今後は、多様性と包摂の視点のもとで「誰一人取り残されない」社会の実現とESD（持続可能な開発のための教育）に取り組むことを通じて、とだっ子と全ての市民一人ひとりの人生が輝きに満ちあふれたものとなるよう、市全体でこの大綱に取り組みます。

そして、市長部局と教育委員会が認識を共有しながら、引き続き、学校・家庭・地域が相互に連携してあゆみ、教育日本一を目指してまいります。

戸田市長 菅原文仁

『共に「はぐくみ まもり むすぶ」教育のまち 戸田』

3つの柱・6つの重点目標

柱①

育む(はぐくむ)～supporting growth～
「こどもの成長をはぐくむ」

■深い学びを活かし自ら未来を切り拓く力を育みます

戸田型 PBL をはじめとする課題解決型の学習や STEAM 教育の基盤づくり、先進技術の活用などを通じて、グローバル化が進む社会で求められる資質・能力を主体的に学べる環境を作ります。

■ふるさと戸田を愛し社会に貢献する心を育みます

体験的な学びや、読書を通じて、戸田市の伝統や文化、自然に触れる機会を大切にするとともに、社会生活を営むうえで必要な礼儀、道徳など公共の精神を育み社会に貢献する心を育てます。

柱②

守る(まもり)～protecting opportunities～
「誰もが学ぶ機会をまもり」

■多様性を尊重し誰もが教育を受ける機会を守ります

こどもの意見反映の機会を広げ、戸田型インクルーシブ教育モデルや戸田型オルタナティブ・プランの推進、いじめ対策の充実、相談支援体制の確保により、誰一人取り残されることなく安心して学習できる機会を保障します。

■安全・安心を確保し成長を後押しできる活気ある教育環境を守ります

学校の安全対策を徹底するとともに、教育施設の計画的な整備、スポーツ・文化芸術活動の推進を通じた生涯学習機会の充実を図り、こどもから大人まですべての世代の学びたい気持ちに応える環境を整えます。

柱③

結ぶ(むすぶ)～connecting schools and communities～
「学校と地域・社会をむすぶ」

■誕生から中学校卒業まで子育て支援と教育体制を切れ目なく結びます

こどもの発達段階に応じた適切なサポート環境を整えるとともに、幼保小連携や放課後児童対策の実施、小中一貫教育の推進など、子育て支援と教育体制とのシームレスな接続に取り組みます。

■教育の現場と地域の多様な主体を双方向で結びます

コミュニティ・スクールの活性化や産学官連携の取組の推進など、地域の多様な主体を双方向で繋ぎ、学びの舞台を広げることで新たな教育環境の創出やこどもの居場所の充実を図ります。



※計画期間：令和8年度～令和12年度

- ・部活動の地域展開（※15）
- ・ゆるやかなつながりと学びを大切にしたいこどもの居場所の充実

施策全体を支える様々な基盤

そのために、「産官学民の多様な知見を生かした学びの推進」「科学的根拠に基づいた施策の展開」「教育デジタルトランスフォーメーション（教育DX）（※16）の推進」といった主な施策に取り組めます。

・戸田市教育政策シンクタンク（※17）をはじめとしたEBC（※18）推進体制の整備

- ・科学政策振興に基づいた施策の展開を図ります。
- ・戸田市教育政策シンタック（※17）をはじめとしたEBPM（※18）推進体制の整備
- ・モータリティー指標等に基づく計画の継続的な状況把握
- ・教育活動や政策の効果等に関する研究の推進と研究成果の公表

モニタリング指導

本計画をEBPMの核となるものと位置づけ、データに基づいて実態をとらえ施策を見直していくための手立てとなるような指標として、以下の指標を設定しています。

■主に方針2に関係するもの

- 主に方針21に関係するもの
- ・戸田型インターネット教育モデルの実施は、兄弟者との協働意識が育まれてくる児童生徒の割合
 - ・特別支援学級・通級指導教室に通う児童生徒の人数
 - ・不登校児童生徒の割合
 - ・次世代応援ポータルサイトの閲覧数
 - ・こども未来アプリ・コメントの意見数
 - ・国内外の姉妹・兄弟都市との交流件数
 - ・障害福祉に係る相談窓口の相談件数
 - ・障害児相談支援利用者数
 - ・1歳8か月児健診、3歳6か月児健診の平均受診率
 - ・子育て支援センター利用回数
 - ・こども家庭相談センターにおける相談件数

■主に方針3に関係するもの

- 主に方針3に關係するもの
- ・生涯学習活動を行っている市民の割合
 - ・市民大学受講者の数
 - ・公民館講座受講者の数
 - ・週1回以上スポーツを実施している市民の割合
 - ・文化祭、音楽祭、美術展覧会の出品者の数
 - ・図書館来館者の数
 - ・郷土博物館来館者の数（常設展示）
 - ・地域クラブに所属している生徒の割合
 - ・市内のことどもの居場所の数

■主に方針4に関係するもの

- ・教育デジタルトランスフォーメーション（教育DX）を推進します
- ・ICTやデジタル機器をはじめとした学習環境の整備
- ・教育総合データベース（※19）の整備と教育データの利活用の推進
- ・個人情報保護やコンプライアンス（法令遵守）の徹底

【1 参考】本記事の画像はすべてフリー素材から引用した。

本計画は初等基本法第17条の規定に基づいて策定する。戸市内における教育環境のための地域別、関係団体へのアンケート、策定委員会での議論及びパブリック・コメントを経て、最終的に令和18年3月の定例教育委員会で議決された。本計画は図1に示された通りである。

【2】電話號碼用

- 第5次戸田市教育振興計画

編集発行：戸田市救急委員会 発行年月：令和8年4月 〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号 電話：048-441-1800（代表） FAX：048-443-9033

1 - 5 歳出予算内訳

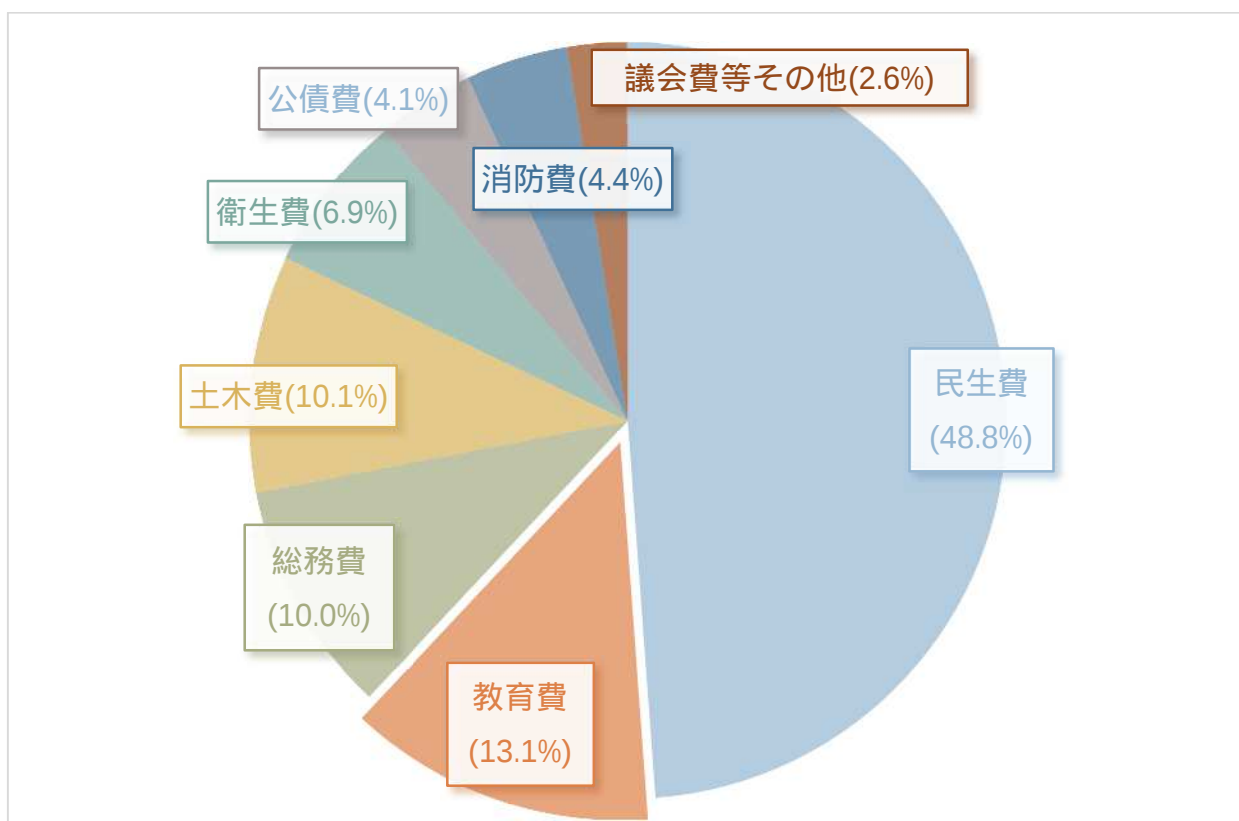
(1) 令和8年度 教育費の歳出予算内訳(当初) (単位:千円)

科目	令和8年度	令和7年度	比較増減	増加率
教育総務費	1,193,638	1,247,869	54,231	4.3%
教育委員会費	4,336	4,334	2	0.0%
事務局費	578,078	654,659	76,581	11.7%
教育指導費	215,656	199,507	16,149	8.1%
保健費	67,607	66,923	684	1.0%
教育センター費	327,961	322,446	5,515	1.7%
小学校費	3,497,491	2,407,519	1,089,972	45.3%
学校管理費	1,466,693	1,415,400	51,293	3.6%
学校建設費	2,030,798	992,119	1,038,679	104.7%
中学校費	1,223,550	870,010	353,540	40.6%
学校管理費	715,510	771,276	55,766	7.2%
学校建設費	508,040	98,734	409,306	414.6%
社会教育費	677,296	663,519	13,777	2.1%
社会教育総務費	69,803	67,426	2,377	3.5%
公民館費	8,360	8,768	408	4.7%
青少年育成費	47,523	46,269	1,254	2.7%
文化財保護費	13,423	12,267	1,156	9.4%
図書館費	407,388	404,161	3,227	0.8%
郷土博物館費	82,014	83,282	1,268	1.5%
彩湖自然学習センター費	48,785	41,346	7,439	18.0%
体育費	516,337	529,046	12,709	2.4%
体育総務費	124,000	116,135	7,865	6.8%
スポーツ施設管理費	8,292	8,823	531	6.0%
スポーツセンター費	384,045	404,088	20,043	5.0%
学校給食費	1,716,006	1,726,119	10,113	0.6%
学校給食センター費	881,254	947,521	66,267	7.0%
単独校給食費	834,752	778,598	56,154	7.2%
教育諸費	47,172	49,011	1,839	3.8%
教育振興費	39,734	39,614	120	0.3%
人財育成奨学資金給付金	7,438	9,397	1,959	20.8%
教育費計	8,871,490	7,493,093	1,378,397	18.4%

(2) 令和8年度 1人あたりの教育費(当初・概算)(令和8年5月1日現在)

区分	人数(人)	予算額(千円)	1人あたりの額
教育総務費 (市民1人に対して)	143,215	1,193,638	8,335 円
小 学 校 費 (児童1人に対して)	7,416	3,497,491	471,614 円
需 用 費		385,496	51,982 円
備品購入費		55,884	7,536 円
中 学 校 費 (生徒1人に対して)	3,637	1,223,550	336,417 円
需 用 費		160,406	44,104 円
備品購入費		20,375	5,602 円
社会教育費 (市民1人に対して)	143,215	677,296	4,729 円
体 育 費 (市民1人に対して)	143,215	516,337	3,605 円

(3) 令和8年度 市全体の予算から見る教育費の割合(当初)



2 教育委員会事務局 各課概要(市長部局含)



2 - 1 教育総務課

教育総務課では、本市の教育方針や計画を決定する教育委員会会議の円滑な運営を行うとともに、市内小中学校の学校施設の管理業務をはじめ、増改築や改修工事などを行い、児童生徒が安全で安心して学べる学校施設の環境整備を行っています。また、高校生や大学生等を対象として、奨学資金による貸付制度や海外留学者を対象とした給付制度などを設け、就学者への支援を実施しています。

主な実施事業

(1) 教育委員会定例会の運営

教育委員会定例会を毎月実施しています。会議は8名まで傍聴することができます。戸田市教育委員会では、重要案件に係る審議及び決定を行うほか、教育委員からの提案に基づいた議題について議論し、教育委員会の活性化を図っています。

教育委員提案の議題一覧(令和7年度)	
4月	・教育総合データベースによるダッシュボードの活用について ・部活動の地域移行について
5月	・学校行事のあり方について
6月	・校内と校外の学習バランスについて
7月	・教職員のメンタルヘルスについて ・保護者への学校での生活の伝達方法について
8月	・学校の様々な教育活動について (平和教育・キャリア教育・金融教育・メディアリテラシー教育)
9月	・教科担任制の現状について(導入状況、効果、課題等) ・図書館での読書活動の推進について
10月	・プレゼンテーション大会の過程について
11月	・学校における働き方改革の推進 ・とだっ子ゼミナールについて(利用者、内容、効果等)
12月	・小中学生への認知症の理解と高齢者との交流について
1月	・個別最適な学びとは
2月	・学校事務職員の役割、現状について ・教育相談に関する取組状況について
3月	・教育委員会と外部連携(産官学)について

(2) 学校施設の管理業務

学校施設の管理業務では、安全で安心な場であり続けられるよう通年にわたりを実施しています。次に記載する強みとなる環境整備に加え、エレベーターや消防、給排水といった設備の保守点検、樹木剪定や窓ガラス清掃業務などを行っています。

■ 冷暖房設備の整備

市内小中学校では、昨今の夏の猛暑時にも快適に授業を行えるよう、各教室への冷暖房機の設置に加え、屋内運動場にも整備をすることで、猛暑においても体育授業等が実施できる環境を整えています。

■ 防犯対策の強化

不審者侵入などをはじめとする防犯対策を強化するため、市内小中学校には警備員の配置、防犯カメラの設置、さすまたやネットランチャーなどの防犯備品の配備など、様々な取組を行っています。

(3) 学校施設の整備事業

市内小中学校の校舎や屋内運動場は昭和40年～50年代の建物が多くあります。施設の長寿命化や学校環境の向上を目指し、外壁や屋上など外周部、空調設備や衛生設備などの改修工事を計画的に実施しています。また、学校施設の老朽化や教室不足により、建て替え工事や増築工事を実施しています。

令和8年度は昨年度に引き続き、教室不足の解消と新たな給食調理場の設置に向けて、戸田南小学校における教室棟の増築工事を行います。美笹中学校の校舎改築について、昨年度に決定した基本設計に基づきながら、令和9年度の工事着手に向けた実施設計業務を行います。また、老朽化した校舎の外壁改修をはじめ、学校施設の安全性の向上を図っていきます。

(4) 高等教育への経済的支援

経済的な理由により、修学困難な生徒や家庭に対し、奨学資金や入学準備金の貸付及び未来へはばたく人財育成資金や海外留学奨学資金の給付を行い、誰もが等しく高等教育を受けることができるよう経済的な支援をしています。

■ 奨学資金貸付制度(返済必要)

修学困難な生徒・学生本人に対して、選考の上、奨学資金を貸し付けしています。申請は毎年3月中旬に受け付けています。

■ 入学準備金制度(返済必要)

高等学校、専修学校及び大学に入学を希望する生徒・学生の保護者に対して、選考の上、入学準備金を貸し付けしています。申請は毎年10月から2月まで受け付けています。

■ 未来へはばたく人財育成資金制度(返済不要)

戸田市名誉市民である故 中村隆俊様(戸田中央メディカルケアグループ名誉会長)からの寄附金をもとに、進学の見込みや能力等を有しながらも経済的な理由によって進学又は修学が困難な戸田市民の世帯の子等に、未来へはばたく人財育成資金(国公立高等学校奨学給付金・海外体験給付金)を給付しています。

・ 国公立高等学校奨学給付金

国公立高等学校等で学ぶ生徒の教科書代や学用品、学校外活動にかかる費用の一部を給付します。

・ 海外体験給付金

戸田市国際交流協会が実施する青少年海外派遣事業(中学生海外体験派遣事業・青少年代表団海外交流派遣事業)に費用負担なく参加できるよう、自己負担分の全額を給付します。

■ 海外留学奨学制度(返済不要)

戸田市民の世帯の子等で海外の大学・短期大学・大学院に留学し正規の教育課程を1年以上学修する者に奨学資金及び渡航費用を給与しています。当制度は寄付者である故金子正夫様らの御意向を受けて、留学を通して豊かな心や幅広い視野を持った戸田市の将来の発展に資する有用な人材を育成することを目的としています。

Topic: **中学校武道場のエアコン設置**

中学校の柔道場、剣道場を有する武道場において、夏季の厳しい暑さを軽減し、生徒が授業や部活動に安心して取り組める環境を整えるため、全校を対象としてエアコンの設置を行います。また、エアコン効率の向上を図るため、遮光カーテンの設置等も併せて実施します。

2 - 2 学務課

学務課は、教育に関する施策の実現のため、教職員の人事に関することや、学齢簿の管理、児童生徒及び教職員の健康管理など、主に人的な教育資源の基礎部分に関する業務を行っています。

主な実施事業

- (1) 県費負担教職員等の人事及び服務に関すること
教職員や、学校事務職員等の人事を行います。

R8.5.1現在

教職員数(県費)	小学校	中学校
男 (人)	156	134
女 (人)	293	114
合 計 (人)	449	248

- (2) 学齢簿の編製及び保管に関すること
法律に基づき、義務教育年齢の児童生徒の学齢簿を編製します。

令和8年度 小・中学校学年別児童生徒数

(令和8年5月1日現在)

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特学	合計
戸田第一小学校	145	132	124	116	136	142	25	820
戸田第二小学校	114	124	137	152	141	151	18	837
新 曽 小 学 校	98	115	114	105	119	127	20	698
美 谷 本 小 学 校	39	51	32	53	50	50	15	290
笹 目 小 学 校	31	46	43	34	36	46	10	246
戸 田 東 小 学 校	143	118	139	140	175	190	31	936
戸 田 南 小 学 校	129	119	106	121	126	145	24	770
喜 沢 小 学 校	59	71	66	73	70	62	14	415
笹 目 東 小 学 校	93	92	95	96	103	92	23	594
新 曽 北 小 学 校	97	110	94	112	106	105	18	642
美 女 木 小 学 校	77	81	76	89	136	82	19	560
芦 原 小 学 校	82	96	95	98	121	102	14	608
合 計	1,107	1,155	1,121	1,189	1,319	1,294	231	7,416
戸 田 中 学 校	185	215	203				19	622
戸 田 東 中 学 校	227	237	165				24	653
美 笹 中 学 校	96	96	81				9	282
喜 沢 中 学 校	150	146	159				8	463
新 曽 中 学 校	331	317	294				22	964
笹 目 中 学 校	197	215	214				27	653
合 計	1,186	1,226	1,116				109	3,637

- (3) 児童生徒の就学及び転出入に関すること
転入、転出等により、転校する場合の手續を担当します。
- (4) 学校教育関係の調査及び統計に関すること
国や県が実施する学校基本調査等の各種調査を行います。また、児童生徒数等を踏まえ、関係法令や県の基準等に基づき、学級編制や教職員配置に関する事務を行います。

令和8年度 小・中学校学年別学級数

(令和8年5月1日現在)

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特学	合計
戸田第一小学校	5	4	4	4	4	5	4	30
戸田第二小学校	4	4	4	5	5	5	3	30
新 曾 小 学 校	3	4	4	3	4	4	4	26
美谷本小学校	2	2	1	2	2	2	3	14
笹 目 小 学 校	1	2	2	1	2	2	3	13
戸田東小学校	5	4	4	4	5	6	4	32
戸田南小学校	4	4	4	4	4	5	4	29
喜 沢 小 学 校	2	3	2	3	3	2	3	18
笹目東小学校	3	3	3	3	3	3	5	23
新曾北小学校	3	4	3	4	4	3	3	24
美女木小学校	3	3	3	3	4	3	3	22
芦 原 小 学 校	3	3	3	3	4	3	2	21
合 計	38	40	37	39	44	43	41	282
戸 田 中 学 校	6	6	6				3	21
戸田東中学校	7	6	5				4	22
美 笹 中 学 校	3	3	3				2	11
喜 沢 中 学 校	5	4	4				2	15
新 曾 中 学 校	10	8	8				4	30
笹 目 中 学 校	6	6	6				5	23
合 計	37	33	32				20	122

(5) 就学援助、特別支援教育就学奨励費に関すること

経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者等に就学援助費を支給します。また、戸田市立小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者等に、法律に基づく特別支援教育就学奨励費を支給します。

(6) 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師等に関すること

健康診断等を行う、学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を任命します。

(7) 通学路及び児童生徒の交通安全に関すること

通学路に適宜、交通指導員を配置し、登下校の安全を確保します。

(8) 独立行政法人日本スポーツ振興センター法(平成14年法律第162号)に規定する災害共済給付等に関すること

学校の管理下において発生した、けが等の災害について、同制度に加入している児童生徒を対象に、必要な給付を行います。

Topic:学校における働き方改革の推進

令和8年4月、給特法の改正に伴い、「戸田市 学校における働き方改革基本方針」をリニューアルし、「戸田市立学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定しました。本計画は、教職員の「働きやすさ」と「働きがい」を両立させ、戸田市の掲げる「好きを育み 得意を伸ばす とだの教育」という教育理念の実現を目的としています。教職員の働きやすさと働きがい、心身の健康保持増進を進め、教職員が子供たちと向き合える時間の確保と、教育の質の向上を図り、学校における働き方改革を進めてまいります。

2 - 3 教育政策室

教育政策室は、市内小・中学校18校において、一人一人の児童生徒が自身のよさや可能性を認識し、その伸長を図るとともに、「生きる力」を育む適切な教育活動が推進されるよう、教育に関する政策の企画・立案、調査研究の他、教員研修や教科等教育への指導などを行っています。

主な実施事業

—産官学との連携による戸田市 SEEP プロジェクトの推進—

(1) S:Subject(教科の本質を捉えた授業改善をはじめ、すべての取組を学びに結びつける)

■ 指導の重点・主な施策(令和8年度)

各種学力調査の結果分析や学校訪問等を通して明らかとなった課題の解決や日々の授業改善に向け、各学校で行う教育活動の指針となっています。



S ubject

教科の本質を捉えた授業改善をはじめ、
すべての取組を学びに結びつける

主体的・対話的で深い学び推進のための「戸田型授業改善モデル」
本市独自のルーブリックを核として多角的な授業改善に取り組む

「子供たちに身に付けさせたい力」は何か

- 各学校における具体的な教育目標の設定と教師の意識改革
 - 具体的な教育目標を設定した「授業力向上プラン」の作成
 - 本市で作成した「資質・能力ルーブリック」の活用

子供たちが何を学ぶか

- 基礎的な知・徳・体の効果的・効率的な習得
- 産官学との連携による新たな学びの実践

子供たちがどう学ぶか

- アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善の推進
 - 本市作成「戸田版アクティブ・ラーニング指導者用ルーブリック」の活用促進（学校訪問時の指導、研究協議会での活用等）
 - 県及び全国学力・学習状況調査等の分析結果のフィードバック
 - 学校訪問改革、校内研修の活性化
 - 県学力調査や教員調査によるルーブリックの検証、改善
 - 教員研修の高度化（お茶の水女子大学、埼玉大学、国士館大学との連携）
 - ユニバーサルデザインに基づく学級経営と授業実践
 - 家庭学習及び放課後補習学習支援（民間の塾等への委託）
- ★ 共栄大学：教員研修のサポート等
- 本市作成「学級経営リフレクション」の活用促進
 - 学びの土台となる学級経営の充実
 - 文部科学省「教育研究開発事業」に係る新たな教育課程の研究
 - 単元ベースの授業づくり

(2) E:EBPM(「授業」「生徒指導」「学校・学級経営」を科学する)

E BPM

「授業」「生徒指導」「学校・学級経営」を科学する
⇒ EIPP (Evidence Informed Policy and Practice)

「戸田市教育政策シンクタンク」の設置
エビデンスベースでの政策づくりを自立的に推進

- 教育総合データベースの運用【拡】
- 授業がわかる調査、教員質問紙調査等の分析
- 多様なスキルを持った教育行政プロや教育DX人材の採用
- 学校現場におけるデータ活用推進
- ★ 外部アドバイザーボード：大学教授や弁護士等の有識者で構成される諮問会議を開催

★ 国立教育政策研究所：教育施策の効果検証

★ 国立情報学研究所、東京理科大学、（一社）教育のための科学研究所：リーディングスキルの視点からの授業改善

★ （株）LITALICO：ペアレントトレーニングの導入
個別のまなびプランの導入

★ （一社）UNIVA：インクルーシブ教育の効果検証

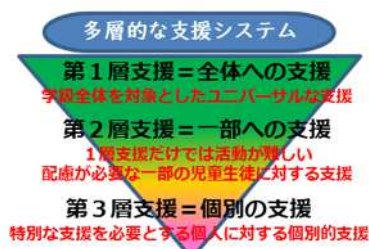
★ IGS（株）：AiGROWによる教育効果の可視化

★ ハイラブル（株）：話し合いの定量的分析と可視化

★ KDDIアイレット（株）：データベースのシステム構築とその分析

■ 「多層的な支援システム」の導入

多層的な支援システムでは、全体に効果的な指導や支援（＝第1層支援）を行いながら、データをもとに児童生徒の反応をつかみ、効果が見られるよう支援方法や指導方法を変えたり、追加したりします。



■ 教育総合データベースの活用

本市では児童生徒の支援・指導の充実に繋げるため、児童生徒に係る様々なデータをワンストップで確認できるように教育総合データベースを整備しています。あわせて、当該データを抜粋し、グラフ等でビジュアル化した「ダッシュボード」を構築し、様々なデータを効率的に確認できるようにしました。

(3) E:EdTech(テクノロジーの活用による新たな学びを創造する)

EdTech

テクノロジー活用による新たな学びの創造

戸田市版SAMRモデルに基づくICTの文具的活用と学びの改革

- 学校と家庭等をシームレスにつなぐ学び等、新たな学びの推進
- 全小・中学校にICT支援員を配置
- 全小・中学校でプロジェクト型電子黒板を活用

- ★ Google : 市内全児童生徒及び教職員にアカウントを付与、「Google 認定教育者」を目指す活用の実施
- ★ 富士電機ITソリューション(株) : ICT総合サポートにより、コールセンター対応及び巡回支援員を全小・中学校へ派遣
- ★ (株) ベネッセ : 「ミライシード」の活用及びICT教育支援員を全小・中学校に派遣、CBTシステム「テストパーク」の活用
- ★ (株) LoiLo : 「ロイロノート」の活用
- ★ (株) ジャストシステム : 「スマイルネクストドリル」を活用した学校・家庭のシームレスな学びの研究
- ★ (株) EdLog : 採点支援システムの活用

■ 戸田市版 SAMR モデル

戸田市においては、戸田市版 SAMR モデルをもとに学びの質の向上を目指し、M 段階 (Modification[変革]) の学びの推進を目指しています



■ ICT 活用と DC (デジタルシチズンシップ) の一体的な充実

各学校で作成した DC の全体計画・年間指導計画をもとに主体的な学び、核となる授業、家庭との連携を柱に DC を育成しています。



DC 授業の様子

(4) P:PBL 1(実生活・実社会のリアルな課題を探究的に解決する学びを推進する)

PBL

実生活・実社会のリアルな課題を探究的に解決する学びの推進

- アイデア提案に留まらない「実行・検証」までを踏まえた実践型のPBLを推進

＜PBLのプロジェクト類型＞

- ・学級/学校/地域の課題解決
- ・子供主体のルールメイキング
- ・地域連携/企業連携/市役所連携
- ・ものづくり/防災/安全/SDGs 等

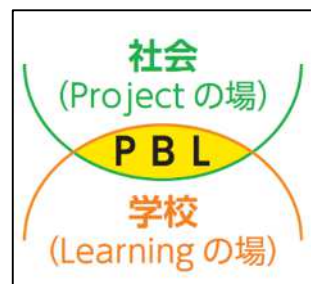
- 戸田市プレゼンテーション大会 (戸田型PBL発表会) の開催
- ★ (株) リバネスキャピタル、インテル (株) フューチャーインスティテュート (株) : プレゼン大会の審査及び指導助言
- PBLに係る地域及び企業等との連携、カリキュラム・マネジメントの推進
- ★ インテル (株)、(株) キャリアリンク: Skills for innovation 研修会の実施
- ★ (公財) 日立財団: 日立みらいイノベーションプログラムの実施
- ★ (株) LX DESIGN : 外部人材の活用支援

STEAM教育の基盤づくり

- ハイスpekデジタル工作機械 (レーザー加工機) を全中学校に導入
- STEAM Labの設置
- ★ ダイワボウ情報システム (株) インテル (株)、アドビ (株)、リコージャパン (株)、(株) アパロンテクノロジーズ、(株) エーゾーン、オーレーザー (株)、ものづくり大学 STEAM教育の共同研究及び教員研修

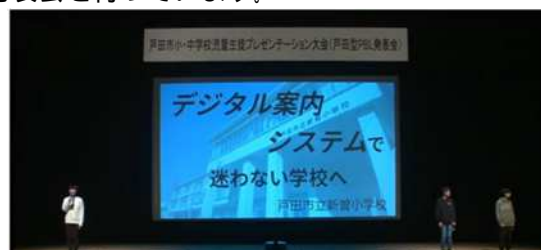
■ 戸田型 PBL

具体的な誰かの要望や自身の願望に基づき、何をしていくか (課題) を決め、その目標の達成や理想の実現 (解決) を目指す活動を通じて、「未来を切り拓く力」を身に付ける社会に開かれた探究的な学び (学習) と定義しています。



■ 戸田市プレゼンテーション大会の開催

市内全小中学校 18 校が日頃の学習をもとに戸田型 PBL 発表会を行っています。



1:PBL:Project-Based Learning

Topic:第5次戸田市教育振興計画がスタートしました

第5次戸田市教育振興計画とは、今後5年間(令和8～12年度)の市の教育政策の方向性を示す計画で、「未来に向けた本市の教育の羅針盤」となるものです。生成 AI などの技術革新により、変化のスピードがかつてなく加速し、常に学びと柔軟な対応力が求められる時代へと進みつつあります。そのような時代を見据え、とだっ子たちの意見も取り入れながら、「教育理念」、4つの「方針」、11の「主な施策」などを定めました。

方針1:未来を創る力を育む学びの実現



探究的な学び



英語教育

方針2:一人ひとりを大切にする学びの実現



多様性を尊重する学び

方針3:みんなで学び、活動し、支え合うまちづくり



地域での学び



スポーツ活動

方針4:施策を実現するための土台づくり



デジタル機器の整備

教育理念:「好きを育み 得意を伸ばす とだの教育」のもと、変化の激しい社会においてこれからの時代に求められる「自分と社会のよりよい未来を創る力」を育んでいきます。

2 - 4 学校給食課

学校給食課は成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図ることに加え、食に関する指導を効果的に進めるための教材として活用できるよう、毎日安全・安心でおいしい学校給食の提供を行っています。

主な実施事業

(1) 学校給食費

学校給食の実施に必要な施設及び設備に要する経費並びに学校給食の運営以外の経費(主に食材費)の計算、徴収、管理を行っています。

また、保護者の経済的な負担を軽減するため、令和 7 年度から中学生の給食費無償化を令和 8 年度からは小学生の給食費無償化を実施しています。併せて、食物アレルギーや不登校等で給食の提供を受けていない児童生徒に対し、学校給食費相当額を助成しています。

学校給食費(平成 31 年 4 月 1 日改定)

区分	給食費(月額)	1食あたりの単価(円)
小学校	4,000 円	244 円
中学校	4,600 円	281 円

令和 8 年度以降、児童生徒は原則免除。

(2) 学校給食センター

戸田市の学校給食は、昭和 32 年 7 月から 2 校の小学校で開始されました。その後、昭和 45 年 9 月から小中学校のすべてにおいて、センター方式による完全給食が実施されました。

平成 17 年 4 月から、小学校において順次、単独校調理場方式の給食が開始され、学校給食センターからの配送校は、小学校 2 校、中学校 6 校(内 1 校は給食センター分室)となっています。

平成 23 年 9 月に現在の学校給食センターが完成し、同年 10 月から給食調理が開始され、年間 180 回以上の給食を提供しています。



所在地:新曽南 4 丁目 3 番 45 号

TEL: 048-442-5065

竣工:平成 23 年 9 月

業務開始:平成 23 年 10 月

調理能力:1 日約 6,000 食

敷地面積 3,543.74 m²

建物 鉄骨造 2 階建

建築面積 1,871.33 m²

延床面積 2,501.66 m²

{ 1階 1,905.47 m²
2階 584.19 m²
機械室 12.00 m²

・学校給食実施状況(給食センター) (令和8年4月1日現在)

区分	学校数 (校)	学級数 (学級)	1日平均食数 (食)
小学校	2	47	1,274
中学校	6	122	3,891
計	8	169	5,165

給食数は児童生徒数と職員数等も含む。

(3) 単独校調理場

平成17年4月から戸田第二小学校、芦原小学校の2校、平成18年4月から美谷本小学校、平成19年4月から戸田第一小学校、平成20年4月から美女木小学校、平成21年4月から戸田東小学校、平成22年4月から笹目東小学校、平成23年4月から新曽北小学校、平成24年4月から笹目小学校、令和5年1月から新曽小学校を加え、10校の小学校で単独校調理場方式による年間180回以上の給食を提供しています。

・学校給食実施状況(単独校) (令和8年4月1日現在)

区分	学校数(校)	学級数(学級)	1日平均食数(食)
小学校	10	235	6,780

給食数は児童生徒数と職員数等も含む。

(4) 学校給食の役割

栄養のバランスのとれた食事を一日に三回食べることは、健康な生活を送る上で基本となるものです。

食生活が充実し児童生徒の体位が向上する一方で、栄養の偏り、不規則な食生活や運動不足などによる肥満、貧血、疲れ、集中力の欠如などの問題が指摘されています。また、社会の変化に伴い家庭のあり方が変容し、家族のだんらんも少なくなり、一人で食えることや子供だけで食事をする習慣など食生活上の問題も生じています。

このような食環境の中で、成長期にある児童生徒に対し健康的な食生活に関する理解を深めていくことは、学校給食の重要な役割と考えます。

■ 給食指導と栄養教諭・栄養職員の参画

栄養教諭・栄養職員は、学校給食を通じ児童生徒の健康教育を進める上で極めて大きな役割を担っています。学校給食の献立作成等に携わる栄養教諭・栄養職員が専門的立場から給食指導に参画し、幅広い活動をすることにより、給食指導の一層の効果を上げることが期待されています。

■ 多様な教育効果

給食の時間は、みんなで一緒に「食べる」学校生活の中で楽しい時間の一つです。その中で栄養に関することや日本の行事食・郷土料理について、また農業や漁業、食料の生産・加工・流通についてなど学習内容の理解が一層深められ、自然の恵みや働く人々への感謝の心を育てることもできます。

■ 食物アレルギー対応

食物アレルギーを持つ児童生徒にも安全な食事を提供できるよう、各調理場及び学校が対応可能な範囲で特定の食品を除いた除去食の提供を実施しています。

Topic: 小・中学生の学校給食費無償化

物価高騰に伴う保護者の経済的な負担を軽減することを目的として、令和8年4月から国・県の給食費負担軽減交付金が創設され、全国的に小学生の給食費の減免が始まりました。

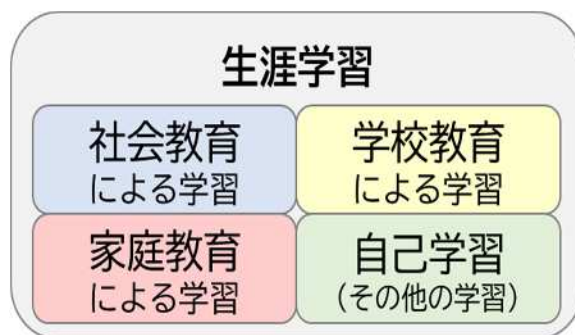
戸田市では、これに先駆け、令和7年4月から市内中学校に在籍する生徒の学校給食費無償化を実施しており、国・県の交付金を活用して、市内小学校に在籍する児童の学校給食費無償化を実施することで、小・中学生の学校給食費の完全無償化を実現しました。

また、アレルギー、不登校等の理由により給食の提供を受けていない児童生徒や、市内在住で特別支援学校中学部に在籍する生徒の保護者に対し、学校給食費相当額の助成を実施しています。

2 - 5 生涯学習課

生涯学習課では、学校教育以外の学習として、社会教育や家庭教育における学習を推進するとともに、市民の自己による学習を含めた生涯学習活動を支援しています。

生涯学習は、人々が、生涯のいつでも、どこでも自由に行うことができる学習活動であり、講座の受講のような学習のみならず、読書や、スポーツ・レクリエーション活動、ボランティア活動、文化活動等あらゆる活動が含まれます。



生涯学習のイメージ図

市民の生涯学習活動の推進のため、生涯学習担当、公民館担当、図書館担当、郷土博物館担当では、様々な事業を実施しています。

●生涯学習担当

主な実施事業(生涯学習担当)

(1) 生涯学習事業の推進

戸田市生涯学習推進ビジョンに基づき、戸田市で暮らす全ての人が「学びや活動」を通じて人生を豊かにし、よりよい地域づくりにつながることを目指し、事業の充実を図っていきます。

また、ICTの活用による学習方法の選択肢の拡充や、大学連携による最先端の知のリソースを活用した学習機会の提供のほか、学び直しのニーズに応える講座の充実等に取り組んでいきます。

(2) 戸田市民大学の運営

平成20年度から「戸田市民大学」を開講しています。平成22年度からは全庁的な取り組みとしてリニューアルし、単位制(1回につき1単位を認定)を採用しています。

市内在住・在勤・在学の方であれば講座を受講することができ、45単位を取得すると修了証と記念品が授与され、希望する方には市民大学修了者大学等聴講補助金を交付しています。

(3) 戸田市まちづくり出前講座

市民が主催する学習の場へ市職員が講師として出向き、市政についての説明や、専門知識を活かした実習等を行います。市民の学習機会の拡充を図り、市政への理解を深めるとともに、まちづくりへの積極的な参加を促すことを目的としています。

(4) 戸田市生涯学習人材バンク

地域の中にいる様々な経験や知識、技能を持った方々が生涯学習人材バンク登録者となり、指導者を必要としている市民へ登録情報として提供しています。

(5) 家庭教育の支援

市内小・中学校の保護者を対象に、親の学習、すこやか子育て講座を行い、家庭での教育力

向上を図っています。また、各小・中学校の PTA が実施する家庭教育学級への支援を行い、学校・地域と連携した家庭教育の充実を推進しています。

さらに、子供の発達段階に応じた家庭教育ができるよう、市内小・中学校の保護者を主な対象とした家庭教育講演会を開催しています。また、令和7年度から家庭教育ショート動画コンテンツ集として、「おうちでサクッと家庭教育動画」の配信を開始しました。

(6) 人権教育の推進

市民を対象に人権教育・啓発に関する事業を推進しています。人権講演会や人権教育指導者研修会などの各種講演会・研修会のほか、人権啓発のためのパネル展や横断幕の掲出、広報活動などを実施しています。

(7) 芦原小学校生涯学習施設管理運営

市民の生涯学習の場として、また、芦原小学校に通う児童との交流の場として利用することを目的に、施設を地域住民に提供しています。

所 在 地:大字新曽 1961 T E L:048-432-6123 開館時間:9時～21時 休 館 日:12月29日～1月3日	集会室	講習会などにご利用ください。
	クラブハウス会議室 [1・2 両室]	講演会、講習会、会議室、託児室などにご利用ください。

(8) 学校運営協議会

教育委員会及び校長の権限と責任のもと、地域住民、保護者その他の関係者が、学校運営に参画し、学校と地域住民等との間の信頼関係を深め、学校運営の改善及び児童生徒の健全育成に取り組んでいます。

Topic(生涯学習担当):戸田市生涯学習推進ビジョン

生涯学習課では、令和8年度から令和12年度を期間とする「戸田市生涯学習推進ビジョン」を、令和8年3月に新たに策定しました。

本ビジョンの策定にあたっては、戸田市教育委員会からの諮問を受けた戸田市社会教育委員会において「戸田市生涯学習推進ビジョンの策定に向けた協議」を行っており、市民意識調査や生涯学習に関するアンケート結果などに加え、市内各小中学校の協力による「児童生徒の意見発表」の結果も取り入れられています。

本ビジョンは、戸田市の生涯学習の目標や進むべき方向性を、市民と共有するための指針であり、第5次戸田市教育振興計画との連関を強化したものになります。キャッチフレーズを「3つの“わ”でみんな輝く とだ ～学びの輪、市民の和、支えの環～」とし、3つの“わ”によって「みんな輝くとだ」を目指すという内容となっております。

ビジョン1「学びや活動に挑戦してみる！」

ビジョン2「市民同士でゆるやかにつながってみる！」

ビジョン3「知識やスキルを地域でいかしてみる！」

ビジョン1により、学びや活動によって市民の人生が豊かになり、ビジョン2によって、市民同士のつながりが生まれ、更にビジョン3で、市民の知識やスキルが活用されることによって地域が活性化して

いくことで誰もが自分らしさを発揮し、いきいきとした戸田市になっていくことを目指します。

各社会教育施設には、本ビジョンのパネルを作成し、掲示しています。また、広報戸田市5月号での特集記事掲載などで本ビジョンの概要をお知らせしています。



戸田市生涯学習推進ビジョン

● 公民館

主な実施事業(公民館)

(1) 市内公民館の概要

公民館は、地域の身近な生涯学習の拠点の一つとして、多様な学習・交流・活動の場を提供するとともに、市民一人ひとりが生涯にわたり主体的に学習し、豊かな人生を送ることができる環境の醸成を担っています。なお、市内公民館は各地域の福祉センターに併設されています。

美笹公民館 (西部福祉センター) 美女木5-2-16 TEL:048-421-3024 FAX:048-421-3060	【施設】 大会議室・第1会議室・第2会議室・第3会議室・講習会室・料理室・茶道室・いこいの室・図書館分室・親子ふれあい広場
下戸田公民館 (東部福祉センター) 下前1-2-20 TEL:048-443-1021 FAX:048-443-1020	【施設】 大会議室・中会議室・小会議室・第1音楽室・第2音楽室・集会室・料理室・茶道室・工芸室・サークル室・体育室・いこいの室・図書館分室
新曽公民館 (新曽福祉センター) 大字新曽1395 TEL:048-445-1811 FAX:048-445-1812	【施設】 第1会議室・第2会議室・講習会室・料理室・茶道室・音楽室・ホール・いこいの室
利用時間: 9時～21時30分 休館日: 第2・4・5月曜日(その日が国民の祝日に当たる場合を除く)、年末・年始	

(2) 主な事業内容

各公民館では、学習を通じて世代を超えた交流を行う場の提供のほか、市民が主体的に地域・生活の課題を解決するために必要な学習や情報、学習成果を地域に発信する機会を提供しています。

また、地域コミュニティの活性化や地域防災拠点として、町会・自治会や学校など、多様な主体と連携し、事業を実施しています。

■ 各種講座の開催

○公民館講座・市民大学講座

講座分類に沿った各種公民館講座、市民大学講座を実施

講座分類
A.リカレント講座 B.地域における課題解決 C.地域資源の学習(とだ学)、郷土愛の醸成 D.社会貢献・ボランティア～学びの成果を地域で活かそう～ E.暮らしに役立つ知識・知恵 F.教養、アカデミックな学び、産官学民連携による事業 G.健康増進 H.ICTの活用、リテラシー教育、デジタルディバイドの解消 I.自然体験 J.新たな学び、学びのきっかけづくり K.ターゲットを絞った講座

○子ども大学とだ

子供たちの学ぶ力や生きる力、地域で地域の子供を育てる仕組みをつくるため、公民館や大学のキャンパス等を会場に、大学教授や地域の専門家等が講師となって子供の知的好奇心を刺激する講座や体験を実施しています。

○IT 相談

市民のデジタルディバイドの解消に向け、来館者が利用できる Wi-Fi 設備を利用して、デジタル機器の利用方法について学んだり相談したりする機会を提供しています。

■ 「公民館・福祉センターだより」の発行

各公民館・福祉センターの機関誌として、講座や地域に関する情報、施設の利用案内等を掲載した「公民館・福祉センターだより」を毎月発行しています。

■ 公民館育成サークルへの活動支援

「公民館育成サークル」を各公民館で登録し、その活動を支援しています。公民館育成サークルは、公民館まつりの運営をはじめとする公民館事業に協力するとともに、地域の生涯学習の推進のための活動を行っています。

■ 戸田市民館まつりの開催

「であい・ふれあい・まなびあい」をテーマとし、各公民館で毎年開催しています。公民館育成サークルの活動成果や小・中学校と連携した取組の発表を通じ、地域に根差した公民館活動を広く市民に紹介する公民館まつりを開催しています。活動の輪の発展を図るとともに、住民教養と地域文化の向上を目指し、情緒豊かな市民生活に寄与することを目的としています。



防災士と学ぶ防災講座 ～被災地の近況と
災害対応シミュレーション～(美笹公民館)



子ども大学とだ「やさしい未来のつくり方 ～大学
で学ぶボランティアとチームワーク～」
(3館合同で開催)



フラワーアレンジメント講座
(新曽公民館)



ものづくり・体験講座「地元人気店のシェフが
教える夏のイタリア料理」(下戸田公民館)



新曽公民館「第78回優良公民館表彰」受賞



ビッグバンドジャズオーケストラ演奏会
(新曽公民館)

Topic(公民館): 公民館・人生100年応援コース(戸田市民大学)

これまで各公民館で実施していた高齢者向け連続講座を令和5年度からリニューアルし、地域でのくらしに必要とされるコースや、元気に活躍できるように健康づくりを意識したコースを設け、戸田市民大学「公民館・人生100年応援コース」として実施しています。講座の中で、受講者同士の交流や、学習後の地域での活動の場、学習の継続に向けた情報提供等を行っています。

●図書館

主な実施事業(図書館)

(1) 図書館の概要

図書館は、市民が自ら学ぶ力を伸ばし、地域社会の活性化を図るために、多様な資料や情報の収集と充実に努め、それらを提供することにより、暮らしや仕事における課題の解決策を求める人々を支援することを目的とします。

■開館年月日(中央図書館) 昭和 58 年 11 月 1 日

開館時間	休館日	面積
中央図書館		
9 時～20 時	毎月第2、第4、第5月曜日(祝日の場合は開館)	3,610.9 ㎡
9 時～18時(土日祝日)	毎月の月末日(土日祝日の場合は開館) 12 月 29 日～1 月 4 日、特別整理期間	
上戸田分館		
9 時～21時30 分	毎月第3月曜日(祝日の場合は開館) 毎月の月末日(土日祝日の場合は開館) 12 月 29 日～1 月 3 日、特別整理期間	542.58 ㎡
下戸田分室		
9 時～18 時	毎月第2、第4、第5月曜日(祝日の場合は開館) 毎月の月末日(土日祝日の場合は開館) 12 月 29 日～1 月 4 日、特別整理期間	42.2 ㎡
下戸田南分室		
9 時～18 時	毎月第1、第3、第5火曜日(祝日の場合は開館) 毎月の月末日(土日祝日の場合は開館) 12 月 29 日～1 月 4 日、特別整理期間	98.8 ㎡
美笹分室		
9 時～18 時	毎月第2、第4、第5月曜日(祝日の場合は開館) 毎月の月末日(土日祝日の場合は開館) 12 月 29 日～1 月 4 日、特別整理期間	99.0 ㎡
戸田公園駅前配本所		
8 時30 分～20 時	12 月 29 日～1 月 3 日、特別整理期間	21.5 ㎡
9 時～17時30 分(土日祝日)		

(2) 主な事業内容

- 資料の収集、整理及び保存
- 登録事務と貸出し

図書館資料を貸出利用する場合、登録申込みが必要です。登録できるのは、市民及び市

内に在勤、在学する人並びに広域利用者(川口、草加、蕨及びさいたまの各市民)、埼玉県朝霞市、和光市、東京都板橋区及び北区に居住している人。登録後、図書資料と視聴覚資料合わせて一人30点まで(このうち視聴覚資料は10点以内)、15日間貸出しできます。また、電子図書館では3点まで15日間貸出しできます(市内在住・在勤・在学者のみ)。

■ 予約・リクエストサービスと相互貸借業務

求める資料が貸出中又は未所蔵の場合は、予約またはリクエストをすることで、資料を用意することができます。未所蔵資料については、当館での購入や相互貸借による他館からの借受けにより対応しています(市内在住者のみ)。

■ 児童奉仕

子供や親子を対象に各種お話会や子供映画会を定期的を開催しています。

■ レファレンスサービス(参考調査業務)

レファレンスサービスとは、利用者が何らかの情報や資料を求めようとするときに職員が援助するものです。中央図書館2階のカウンターにてご相談ください。

■ バリアフリーサービス

視覚障害者等の図書館利用を円滑にするため、要望のあった図書や市の広報紙等の朗読録音資料の作製と貸出し、点字図書・点字雑誌の収集と貸出しに加え、アクセシブルライブラリー(視覚障害者用電子書籍サブスクリプションサービス・音声読み上げ)も受付しています。

■ 各種講座の開催

古典講座、文学講座、レファレンス講座等を開催しています。

■ ブックスタート

赤ちゃんの健やかな成長を願って、毎月福祉保健センターで実施している「4 か月児健診」に訪れた親子を対象にブックスタートの趣旨を説明し、絵本の読み聞かせの実演を行い、絵本の配布を行っています。

Topic(図書館):新たな貸出拠点の開設記念イベントの実施

令和8年3月3日よりイオンモール北戸田店の未来屋書店にて、図書館HPで予約した本の受け取りができるようになりました。これを記念して、イベントを実施いたしました。

【開催日時】令和8年5月9日(土) 10時から16時まで

【場 所】イオンモール北戸田1階 セントラルコート

【内 容】10:00~12:00 てづくりの缶バッジをつくろう!

ブックポストに君の絵を!(お絵描き)

10:00~10:30 大型絵本を読んでみよう!

10:30~11:00 図書館がやってきた!わくわくおはなし会

11:00~11:30 大型絵本を読んでみよう!

11:30~12:00 図書館がやってきた!わくわくおはなし会

13:30~14:00 ザ・ワースレス SPECIAL LIVE (1st stage)

15:00~15:30 ザ・ワースレス SPECIAL LIVE (2nd stage)

●郷土博物館

主な実施事業(郷土博物館)

(1) 郷土博物館の概要

郷土博物館は、戸田の歴史、民俗、文化について紹介する総合博物館であり、豊かな教養を育み、個性ある文化創造の一翼を担うことを目的とした生涯学習の場として、中央図書館と併設されています。

所在地:大字新曽 1707 番地 TEL:048-443-5600 FAX:048-442-8988	開館時間:10 時～16 時 30 分 休館日: ・第 2、第 4、第 5 月曜日(祝日の場合は、開館) ・毎月の月末日(土曜・日曜、祝日の場合は、開館) ・特別整理期間 年末年始(12 月 29 日～1 月 4 日)
開館年月日:昭和 59 年 11 月 1 日 面積:3,088.1 m ²	

(2) 主な実施事業の紹介

■ 常設展示

「荒川の流れと収穫の日々 - 低湿地の暮らし -」をメインテーマとし、荒川下流域に位置する郷土の歴史や民俗を、戸田に特徴的なテーマに分けて展示しています。

■ ロビー展、昔の暮らし展等

総合博物館としての館の特性を活かし、郷土戸田に関わりのあるテーマを広く求めながら、ロビー展、近隣学校等連携展示、昔の暮らし展等の展示会を開催しています。

■ 教育普及事業

市内小・中学生等を対象として体験学習を行う「子ども体験ひろば」や、アーカイブズ・センターの所蔵史資料を活用した一般対象講座「アーカイブズ・セミナー」等の講座を開催しています。

■ 博学連携事業

市内の小学校等と連携し、博物館授業、出張授業支援、所蔵資料の貸出し等により郷土学習を支援する博学連携事業を行っています。

■ 博物館実習の受入れ

学芸員資格の取得を目指す学生のために、博物館法施行規則に定められた博物館実習を行い、各大学からの実習生を受け入れています。

■ アーカイブズ・センター

郷土博物館 2 階のアーカイブズ・センター(平成 21 年開設)では、古文書や地図等の史資料を閲覧することができます。

■ 文化財の保護

市民共有の財産である有形文化財、無形文化財、埋蔵文化財の調査、保護、活用を通じて、郷土愛を育み、文化財への理解を深められるよう各種の取組を行っています。また、文化財講座を開催し、戸田市の文化財について広く一般に周知を図っています。



文化財の調査



文化財講座

Topic(郷土博物館):市制施行60周年 企画展「戸田市のあゆみ～市制60年をむかえて～」開催

令和8年10月1日、戸田市は市制施行60年を迎えます。戸田市は、荒川下流域の低湿地帯にあり、現在でこそ交通の便もよくマンションや倉庫が多く立ち並ぶ街ですが、古くは荒川での漁撈や渡船、農業等を行っていました。江戸時代にあった6か村(上戸田・下戸田・新曽・惣右衛門・下笹目・美女木の各村)は、明治22年の町村合併により戸田村、笹目村、美谷本村の3村へ、その後昭和に入って戸田町・美笹村、戦後の昭和32年に戸田町となり、昭和41年埼玉県で24番目の市となる戸田市が誕生しました。

本展示では、戸田市の変遷や、平成28年以降に受け入れた資料を中心に、ここ10年間に起こった特徴的なできごとである新型コロナウイルス感染症の流行、東京2020オリンピック開催における戸田市の取組等を見ていきます。

【開催期間】令和8年10月1日(木)～11月15日(日)

期間中休館日:10月26日(月)、11月9日(月)

【展示会場】郷土博物館3階 特別展示室

【入 場 料】無料

●彩湖自然学習センター

主な実施事業(彩湖自然学習センター)

(1) 彩湖自然学習センターの概要

彩湖自然学習センターは、荒川を舞台とする自然の再生と人間性の回復を考え、自然と人、人と人の交流空間を創出することを目的とします。

所在地:大字内谷 2887 番地	開館時間 10 時～16 時 30 分
TEL: 048-422-9991	休館日
FAX: 048-422-9993	・第 2、第 4、第 5 月曜日(祝日の場合は、開館)
開館年月日 平成 9 年 6 月 1 日	・毎月の月末日(土・日、祝日の場合は、開館)
面積 1,068 m ²	・年末年始(12 月 29 日～1 月 4 日)

(2) 主な実施事業の紹介

■ 常設展示

階ごとに生き物と自然環境についてテーマを設け展示しています。

1F: 水中のふしぎ

魚や亀など荒川下流域の水棲生物がいるミニ水族館です。

2F: 水辺のふしぎ

荒川周辺の水辺の四季を紹介する「水辺シアター」を中心に生き物たちの生態と食物連鎖についての学習ができます。

3F: 草原・湿原のふしぎ

草原・湿原に棲む生き物たちを知ることができます。

4F: 林のふしぎ

樹木に生息している生き物たちの営みを観察できます。別に講座等を開催する学習室があります。

5F: 荒川のすがた

荒川の治水・利水の歴史や現在の荒川の姿を紹介するとともに、荒川第一調整池や防災に関する情報を展示しています。屋上展望広場もあります。

■ 各種講座の開催

野鳥観察会、植物ウォッチング、昆虫ウォッチングなど自然との触れ合いを大切にした講座を開催しています。

Topic(彩湖自然学習センター): 博学連携事業

市内の各小・中学校と連携して、現地での自然体験を行う彩湖自然学習センター授業やサイエンス・サポート・プログラムによる教育支援活動を行っています

2 - 6 文化スポーツ課(市長部局)

文化スポーツ課は、3つの担当に分かれており、それぞれ以下のような業務を行っております。

- ・ スポーツ担当
戸田マラソン大会、市民体育祭地区大会等のイベントやスポーツ教室の企画運営、各種スポーツ・レクリエーション団体との連絡調整等
- ・ 文化担当
美術展、文化祭、音楽祭等イベントの企画運営、各種文化団体との連絡調整、文化会館管理業務等
- ・ スポーツセンター再整備プロジェクトチーム
スポーツセンター再整備に向けた業務、スポーツセンター管理業務等

主な実施事業

(1) 文化芸術活動の推進

市民の文化芸術に対する関心を高め、様々な音楽や美術などに触れることのできる環境を整え、市民自らが活躍できる機会を作るなど、市民の文化芸術活動を推進します。

■ 戸田市美術展覧会

平成 13 年度に市制施行 35 周年記念事業として始まり、令和 8 年度で第 24 回目を迎えます。毎年秋に文化会館を会場として開催され、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の全 6 部門の展示を行っており、市民が身近に芸術鑑賞できる機会を創出しています。



■ 戸田市文化祭

毎年秋に開催され、戸田市文化協会に加盟する団体が文化会館、上戸田地域交流センター「あいパル」等で発表、展示を行っています。

■ 戸田音楽祭

平成 18 年度に市制施行 40 周年記念事業として始まり、誰にでも親しんでもらえるクラシック音楽を中心とした音楽祭オリジナルの演奏会やイベント活動を通じ、青少年の情操教育の一環として、また心豊かでふれあいのある地域づくりを目指すことを目的として開催しています。



■ 戸田市文化会館

戸田市文化会館は、市民の文化の向上と福祉の増進を図ることを目的に、昭和 56 年 1 月に開設された施設です。



戸田市上戸田 4 丁目 8 番 1 号 開館時間: 9 時 ~ 21 時 30 分まで	■ 施設の内容 1 階 エントランスロビー、レストラン、総合受付、事務室等 2 階 展示室、市民ギャラリー、大ホール(固定席 1,204 席、車椅子席 6 席)、ホワイエ等 3 階 会議室 4 室、練習室 2 室、ロビー等 4 階 宴会室 4 室、応接室、配膳室、ロビー等 5 階 多目的ルーム 3 室、アートギャラリー、和室 ■ 駐車場 133 台 (第 1 駐車場: 96 台、第 2 駐車場: 37 台(身障者用 2 台))
敷地面積: 7,000.35 m² 建物面積: 10,950.37 m² 構造: 地下 1 階、地上 5 階、SRC 造	

(2) スポーツ・レクリエーション活動の推進・充実

戸田ボートコースや彩湖など、地域資源を活かした、戸田市独自のスポーツ・レクリエーション活動を展開するなど、市民の誰もが年齢や体力に応じてスポーツやレクリエーションを楽しむことができるようにします。

■ 市民体力テスト

体力の保持増進への関心を高め、スポーツ推進を図るため、毎年スポーツの日に市民の体力測定を行っています。



■ 市民体育祭地区大会

スポーツ・レクリエーションを推進し、体力の保持増進とスポーツ精神の高揚を図るとともに、人と人、地域と地域の交流を促進し、明るく潤いのある社会の形成を目的として地域別に市内 6 会場で開催しています。



■ 戸田マラソン in 彩湖

彩湖・道満グリーンパークを会場に全国から参加者を募り開催しています。マラソン大会を通して参加者の健康増進と親睦を図り、コミュニティづくりに努めることを目的としています。



■ ボート教室

日本唯一の静水コースである戸田ボートコースを活用し、競技の体験を通じ、健康増進とローイング(ボート)競技の普及を図ります。



■ カヌー体験教室

彩湖・道満グリーンパークで自然あふれる環境の中、カヌー体験教室を開催します。



■ 戸田市スポーツセンター

戸田市スポーツセンターは、市民皆スポーツによる健康の増進とスポーツを通じた新しいコミュニティの形成を目的に、昭和 55 年 9 月に開設された施設です。

戸田市大字新曽 1286 番地

開場時間: 9 時 ~ 21 時

敷地面積: 39,698.50 m²

建物面積: 16,590.45 m²

構 造: 地下 1 階、地上 5 階、SRC 造



施設の内容	
センター棟	ゲーム棟(第一競技場)
1 階 管理事務室、大・小会議室、医務室	1 階 バレーボールコート(2 面)、
2 階 柔道場、トレーニング室、体力測定室	バスケットボールコート(2 面)
3 階 剣道場、卓球場	バドミントンコート(8 面)
4 階 第二競技場	テニスコート(2 面)、卓球(32 台)など
5 階 機械室等	2 階 選手控席(837 席)
	ランニングコース(一周 200m)
屋外	屋内プール棟
テニスコート 6 面、弓道場、陸上競技場	1 階 公認プール(25m×15m)
	幼児・歩行用プール(15m×8m)
	2 階 選手控室

■ その他戸田市スポーツ施設一覧

● 彩湖・道満グリーンパーク

戸田市大字重瀬 745 外

開場時間 夏季 8 時 ~ 18 時(4 ~ 10 月)

冬季 8 時 ~ 16 時(11 ~ 3 月)

野球場(2 面)、ソフトボール場(7 面)、

サッカー場(2 面)、テニスコート(9 面)

陸上競技場(1 面)

● その他

施設名	所在地	開場時間	備考
北部公園野球場	笹目北町 9 - 5	8 時 30 分 ~ 21 時	
笹目公園野球場	笹目 7 - 1	8 時 30 分 ~ 21 時	

新田公園野球場	美女木 3 - 1	夏 8 時 30 分 ~ 18 時 30 分 冬 8 時 30 分 ~ 16 時 30 分	中学生以下 のみ使用可
惣右衛門公園サッカー場	笹目 1 - 38	夏 8 時 ~ 18 時 冬 8 時 ~ 16 時	
惣右衛門公園フットサル場(2面)	笹目 1 - 38	夏 8 時 ~ 18 時 冬 8 時 ~ 16 時	
中町テニスコート (2面)	中町 1 - 27 - 1	夏 8 時 ~ 18 時 冬 8 時 ~ 16 時	
夏 4 月 ~ 10 月、冬 11 月 ~ 3 月			

Topic: 「市民で創る第九コンサート」の開催

昨年度、戸田市文化芸術推進条例の制定を記念し開催された「市民で創る第九コンサート」は盛況のうちに幕を閉じました。今年度は市制施行60周年を記念し、同コンサートを令和9年1月17日(日)に開催します。

Topic: 戸田市スポーツセンター再整備事業

戸田市スポーツセンターは、昭和55年の建設から40年以上が経過し、老朽化が進んでいます。また、時代の変化とともに市民ニーズも多様化しており、これまでの機能を維持発展させるべく、新たなスポーツセンターの再整備を進めています。

今後は、令和8年9月に新しい施設の方針を示す「基本構想」を策定し、同年10月以降は、施設機能などを定める「基本計画」の検討に着手する予定です。

2 - 7 こども・若者政策課(市長部局)

こども・若者政策課では、次世代を担う青少年が社会の一員として、自らの主体的行動による自立した生活基盤と豊かな人間関係を育みながら、心身ともに健やかに成長していくよう、青少年関連団体と協力し、青少年の社会参加の場の提供、次世代リーダーの育成、ふれあい交流活動・地域活動の充実に努めています。

主な実施事業

(1) 児童センター管理運営事業

市内に2か所ある児童センター(こどもの国・プリムローズ)は、乳幼児から高校生までが利用できる施設です。遊びを通じたこども達の健全な育成や、子育て世代交流を深めます。

■ こどもの国

屋内には図書コーナー、プレイルーム、屋内砂場、軽体育室、スタジオ(ダンス・音楽)など、屋外には、児童・幼児用プール、大型遊具、屋上まで続く緑の丘などがあります。子供たちの遊び、発達、成長を支援する、各種子育て支援講座、体験型イベント等を行っており、多くの利用者に親しんでいただける施設です。

本町1丁目17番7号

TEL:048-443-2387

HP:<https://www.toda-kodomonokuni.jp/>

開館時間:9時から21時まで

第3水曜日(祝日は開館)と12月31日から

1月3日を除く毎日

敷地面積:10,377.79 m²

建物:鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)地上2階

延床面積:3,029.76 m²



■ プリムローズ

乳幼児を対象として年齢別の子育て支援事業、参加者同士が自由に交流できる子育て広場、親子で体を動かすイベントやリトミックなどの音楽イベント、絵本の読み聞かせ等を行っています。

また小学生以上を対象に、ものづくりなど様々なイベントを行っているほか、バンドやダンスの練習などの活動ができます。館内には室内用の大型遊具もあり、雨の日でも思いっきり遊べる施設となっています。

笹目 2 丁目 19 番地の 14

TEL: 048-442-1033

HP: <https://jidocenter-primrose.webnode.jp/>

開館時間: 9時から 18 時まで 第1月曜日(祝日は
開館)、12 月 31 日から 1 月 3 日を除く毎日

敷地面積: 3,492.8 m²

建 物: 鉄筋コンクリート造 地上 3 階

延床面積: 2,917.369 m²



(2) 青少年健全育成事業

補導員協議会による補導活動や青少年団体連絡協議会による青少年祭り、青少年育成市民会議による社会科見学会や家庭の日の普及啓発を目的とした映画祭など、青少年団体との連携協力のもと、様々なイベントの実施を通して、青少年の健全育成・地域交流を推進します。

<主なイベント等>

- ・補導活動(花火大会、ふるさと祭り等での補導)
- ・成人式～はたちの集い～ ・青少年祭り
- ・社会科見学会
- ・青少年健全育成大会～冬の映画祭～



(社会科見学会の様子)

(3) 青少年の居場所事業

青少年の居場所は、公共施設を開放し、青少年が遊び、スポーツ、勉強などをして自由に過ごすことができる放課後の居場所を提供している事業です。小・中・高校生世代利用者同士や、大学生を中心としたスタッフとの交流を通じて、青少年がルールやマナーを学び、社会性を育む機会を創出することを目的としています。

- 青少年の居場所を開催している公共施設
東部福祉センター、新曽福祉センター、
心身障害者福祉センター、笹目コミュニティーセン
ター(コンパル)、新曽南多世代交流館(さくらパ
ル)、福祉保健センター、中央図書館



また、小学生を対象に、放課後の学校の教室、校庭、体育館などで、地域のボランティアが中心となって、放課後の子供たちと勉強やスポーツ・文化活動をするほか、地域住民との交流活動などの取組を行う「放課後子ども教室」を実施しています。(子育て支援課所管)



(放課後子ども教室の様子)

青少年の広場は、青少年に自主的な遊びの場を提供し、心身共に健やかな成長に資することを目的とした施設です。特に中高生を対象とした青少年が好きな時間に来て、気軽にバスケットボールやフットサルなどのボール遊びができるほか、多目的に利用できます。

■ 青少年の広場

本町・中町・新曽



(本町青少年の広場)



(新曽青少年の広場)

Topic: プレーパーク事業

こども・若者政策課では、遊びを通してこども達の好奇心を刺激し、発想力を育むための取組として、自然遊び場(プレーパーク)事業を実施しています。

プレーパークは月1回程度道満グリーンパークで開催しているほか、下町公園など市内の公園でも不定期開催しており、また、児童センターこどもの国の広場でも、月一回程度ちびっこぼうけんひろばとして、自由遊びのできるミニイベントを開催しています。

また、プレーパークの運営は、特定非営利活動法人戸田遊び場・遊ぼう会に委託しているため、プレーパークの開催時には、必ずプレーリーダーが常駐して、こども達を見守りつつ、必要に応じて遊びのヒントを提供しながら、こども達が体験を通して、未来への可能性を広げていくサポートをしています。



(道満プレーパーク)


**笹目にプレーパークが
やってくる!! in 下町公園**


5月6日 月 祝 13時～17時

下町公園 (戸田市笹目6-25-2) 雨決中止

対象：中学生以下

決まったプログラムはありません。予約不要・出入り自由です。プレーリーダーと気持ちよく遊ぼう！

汚れてもいい格好で、飲み物を持ってくるね

こんなことして遊べるよ！

てづくりすべり台、モンキーロープ、ペーゴマ、しゃぼん玉、チョークでお絵かき、大なわ、ダンボールでひみつき、虫とり…などなどやりたいことを探してみよう！もちろん何にもせずにぼーっとしていてもOK！






(プレーパーク案内チラシ)

3 戸田市立小学校・中学校 の紹介





戸田市立戸田第一小学校

所在地 上戸田 3-7-5 児 童 数 820人
 校 長 武藤 昌博 学 級 数 30学級
 教 頭 福田 裕美 教 職 員 数 60人
 創 立 明治 10 年 5 月 1 日 開校記念日 5 月 1 日



総合的な学習の時間による探究的な学び

● 本校の特色

本校は開校 150 年の歴史を持つ、児童数 820 名、30 学級(内特支学級 4)の大規模校である。学校教育目標「気づく・創る・助け合う」を体現する学校を目指し、『ウェルビーイングを実感できる学校～「気づく・創る・助け合う」が息づく学校づくり～」と設定し、学校・家庭・地域が協働するコミュニティ・スクールを推進している。今年度は、「探究へ向かう学びの創造」を研究テーマに、探究学習の研究をさらに深化させ、教科の学習と総合的な学習の時間との往還を重視する。さらに、児童一人一人が本質的な問いを持ち、その問いを軸に探究を深めていくことで、学びに向かう力や思考力・判断力・表現力の育成に取り組んでいる。

● 校訓と学校教育目標

『 誠実 ・ 剛毅 ・ 勤儉 』（校訓） ・ 気づく ・ 創る ・ 助け合う （学校教育目標）

● 本年度の研究テーマ

「 探究へ向かう学びの創造 」



戸田市立戸田第二小学校

所在地 喜沢南 2-2-37 児 童 数 837人
 校 長 河西 誠 学 級 数 30 学級
 教 頭 福井 利枝 教 職 員 数 54人
 創 立 昭和 27 年 5 月 30 日 開校記念日 5 月 30 日



個別最適な学び



SWPBS

● 本校の特色

本校は集合住宅が建ち並ぶ地域であり、児童数 837 名、30 学級の大規模校である。目指す学校像を「誰一人取り残されない学校～多様性を包摂し、一人一人の可能性と Well-being を開花させる～」とし、その実現のため、すべての子供が自分に合った学びにつながり生き生きと学んでいる「個別最適な学び」毎日楽しく笑顔で学校生活を送るための「SWPBS(学校全体で取り組むポジティブ行動支援)」そして一人一人に最適な指導・支援を多層型で実行する支援スキームを三本柱としている。すべての子供たちが主体的に学び、自律性を育みながら笑顔で学校生活を送れるよう、全教職員で取り組んでいる。

● 校訓と学校教育目標

校訓 『 自主・誠実・和楽』 学校教育目標 『心豊かに 21 世紀を たくましく 生き抜く子の育成』

● 本年度の研究テーマ

誰一人取り残されない学校の創造～多様な子供たちへの多層型支援～



戸田市立新曽小学校

所在地 新曽南 2-13-8 児 童 数 699 人
 校 長 筒井 陽子 学 級 数 26 学級
 教 頭 川村 恭平 教 職 員 数 58 人
 創 立 明治 43 年 2 月 23 日 開校記念日 2 月 1 日



● 本校の特色

プレゼンテーション大会代表児童発表

本校は、昭和 35 年に開校し 68 年目を迎える。学区には複合型コミュニティーセンターや学校給食センターがあり、近くには荒川が流れている。やる気と優しさが響き合い、地域とともに、共生社会で活躍できる人材を育成する学校をめざし、セサミストリートカリキュラム、リーダー・イン・ミーを軸とした、インクルーシブ教育の充実を推進している。また、保護者や地域の方々とともに、共生社会で活躍できる人材を育成するための教育活動を推進している。

● 校訓と学校教育目標

校訓： あかるく＜徳育＞ かしく＜知育＞ たくましく＜体育＞

学校教育目標：夢をえがき 計画をたて 行動する 児童の育成

● 本年度の研究テーマ

すべての子供が主語になる授業づくり

～自己調整力×協働力～



戸田市立美谷本小学校

所在地 美女木 7-11-3 児 童 数 290 人
 校 長 伊藤 裕二 学 級 数 14 学級
 教 頭 黒崎 正彦 教 職 員 数 45 人
 創 立 明治 6 年 1 月 20 日 開校記念日 1 月 20 日



● 本校の特色

本校は明治 6 年に開校し、創立 154 年を迎える戸田市内で最も歴史と伝統のある学校である。150 年に及ぶ教育実践の蓄積を基盤としながら、現代のニーズに応じた教育を取り入れ、自ら学びの舵取りができる子供たちを育てている。また、多様な児童を包摂する柔軟な教育課程の編成による先進的な研究を推進しており、子供たちが学びの主体となって問題解決の方法を探っていく PBL(プロジェクト型学習)を実践している。さらに、学区内にある「彩湖・道満グリーンパーク」の恵まれた環境を生かし、教育活動の質的向上にもつなげている。

● 校訓と学校教育目標

共に創る美谷本っ子の笑顔と未来

み 自ら考える子 や やり抜く子 も 問題を発見する子 と 共に高め合う子

● 本年度の研究テーマ

「学びの舵を、こどもたちの手に ～多様な児童を包摂する柔軟な教育課程の編成・実施～」



戸田市立笹目小学校

所在地 笹目 6-9-1 児童数 246人
 校長 杉森 雅之 学級数 13学級
 教頭 富田 さやか 教職員数 45人
 創立 明治7年3月15日 開校記念日 3月15日



● 本校の特色

本校は、戸田市の西部に位置し、本年度は開校 153 年目を迎える。学校周辺には荒川、彩湖があり、自然や緑豊かな教育環境に恵まれている。地域の人口変動は比較的少なく、地域の方々は、学校の教育活動に協力的である。保護者の中には卒業生も多い。地域とともに作る学校「コミュニティ・スクール」を積極的に推進している。

教育活動では「こども まんなか」を掲げ、子供が主語となる学びを重視している。ICT を活用した個別最適な学びや、多様な他者との対話を通じた協働的な学びを展開し、子供たちが自ら問いを立て、主体的に探究しながら個性を輝かせる教育活動を推進している。

● 学校教育目標

「かしこく やさしく たくましく」

● 本年度の研究テーマ

「挑戦 自走 認め合い ～多様な子供一人一人が自分事として学び続けていける教育の実現へ～」



戸田市立戸田東小学校

所在地 下戸田 1-11-15 児童数 936人
 校長 水沼 美和 学級数 32学級
 教頭 才田 真弘・谷口 広樹 教職員数 72人
 創立 昭和38年4月1日 開校記念日 2月22日



STEAM Lab での活動

● 本校の特色

本校は、本年度、開校 64 年目を迎える。児童数 936 名、32 学級の大規模校である。令和 3 年度 4 月より、小中施設一体型の新校舎で教育活動を行っている。令和 4 年度からは教育課程特例校となり、「しのめタイム」を新設し、戸田型 PBL を中心に子供が主体の授業づくりを行ってきている。すべての人を笑顔～Well-being～にする学校に向け、自走と共創をキーワードに 20 年後の未来社会で活躍できる子供を育てる教育活動を展開している。

● 学校教育目標

「グローバル社会で、将来、豊かに生き活躍できる児童生徒の育成」

～「居場所」を力に、「やってみたい」をカタチに～

● 本年度の研究テーマ

「未来社会を創造する児童生徒の育成」

～小中9年間を見通した探究的な学習を充実させるために～



戸田東小
ホームページ



戸田東小
Facebook



戸田市立戸田南小学校

所在地 戸田市本町 4-8-2 児 童 数 770人
 校 長 本木 千穂 学 級 数 29学級
 教 頭 勝俣 武俊 教 職 員 数 61人
 創 立 昭和 43 年 4 月 1 日 開校記念日 3 月 3 日



学校応援団による一年生の生活ボランティア
 ～南っ子とみんなで作る子どもが学び合い育ち合う学校～

● 本校の特色

本校は、JR 戸田公園駅に近く、マンションが多い住宅地内にあり、戸田第一小学校から分離独立した、開校59年目を迎えた大規模校である。

本校では「一人一人の子どもが主語の学校」を学校経営方針にあげ、主体的に学習に向かい、他者のよさを尊重し、助け合い協働できる児童育成に向け、取り組んでいる。

また、地域連携にも力を入れ、自走する学校運営協議会により、様々な取組が進められており、令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰を受けた。

● 校訓と学校教育目標

「気づく 助け合う きたえる」

「一人一人の子どもが主語の学校」～南っ子とみんなで作る子どもが学び合い育ち合う学校～

● 本年度の研究テーマ

多様な子どもたちの「深い学び」の実現～全ての子どもが夢中になれる授業づくりを通して～



戸田市立喜沢小学校

所在地 喜沢 1-48-6 児 童 数 416人
 校 長 山根 淳一 学 級 数 18学級
 教 頭 嶋 広志 教 職 員 数 43人
 創 立 昭和 43 年 4 月 1 日 開校記念日 2 月 24 日



非同期の学び



● 本校の特色

PBS キャンペーン

本校は、蕨市や川口市と接する戸田市の最も東側に位置する、開校59年目を迎える学校である。

目指す学校像を『一人一人の多様な Well-being を実現する～全ての子供と大人が「私は何をしに学校へ？」に答えることができる学校～』とし、応用行動分析学を基盤として児童の多様な教育的ニーズに対応する多層型支援システムを導入している。児童一人一人が学びのハンドルをにぎり、教科の本質をとらえて資質能力を育成する「非同期の学び」と、すべての児童のポジティブな行動をポジティブに支援し、児童と教職員とでよりよい学校生活を創っていく「スクールワイド PBS」を軸として研究に取り組み、子供が主語の学校づくりを推進している。

● 校訓と学校教育目標

「夢をもつ 自分で考える みんなと学級・学校をつくる」

● 本年度の研究テーマ

子供と大人の「したい」を実現する～多様な児童を包摂する柔軟な教育課程の編成～



戸田市立笹目東小学校

所在地 笹目 3-17-12 児童数 594人
 校長 藤田 政貴 学級数 23 学級
 教頭 渡邊 謙太郎 教職員数 47人
 創立 昭和 47 年 4 月 1 日 開校記念日 3 月 3 日



収穫した果物を給食に活用

● 本校の特色

本校は戸田市の西部に位置し、周辺は大宮バイパスや首都高速大宮線等幹線道路に囲まれている。また学区には児童センターなどの社会教育施設がある。校庭には学校水田をはじめ、りんごやプラムなど実の成る木々が並ぶフルーツロードがあり、グリーンボランティアによる定期的な花壇整備、うさぎふれあい広場の開設等、自然を生かした教育活動を進めている。教科においては児童の多様性に対応する指導法や最先端技術を活用した学びを研究し、コンピテンシーの育成を図っている。

● 校訓と学校教育目標

・深く考え行動する子ども ・進んで働く子ども ・健康でたくましい子ども ・思いやりのある子ども

● 本年度の研究テーマ

「実社会で生きて働く力(コンピテンシー)の育成」
 ～ 個別最適な学びと協働的な学びの創造 ～ (全教科等)



戸田市立新曽北小学校

所在地 新曽 1367 児童数 642人
 校長 加藤 貴嗣 学級数 24 学級
 教頭 川上 奈緒子 教職員数 54人
 創立 昭和 48 年 4 月 1 日 開校記念日 2 月 12 日



学級会の様子

● 本校の特色

本校は昭和 48 年 4 月 1 日に新曽小学校から分離独立し、今年度、開校 54 周年目を迎える。学区には市の公共施設等が多く、博物館・図書館、スポーツセンター等の施設を学習に有効活用している。

「かしこく なかよく たくましく ひろい心で」の学校教育目標のもと、児童に育成したい力として、「考動力(気が付く力・考えたことを表現し合う力・仲間と共にやりぬく力)を設定し、居心地のよい安心できる学級を基盤としながらその力の育成を図っている。

● 校訓と学校教育目標

校訓 「英知」「友愛」「剛健」「寛容」

学校教育目標 - かしこく なかよく たくましく ひろい心で -

● 本年度の研究テーマ

新曽中学校区:新曽(地域)から世界へ 主体的に学ぶ児童生徒の育成

本校:考動力～課題発見力・協働力の育成を目指して～(特別活動・算数科)



戸田市立美女木小学校

所在地 美女木 2-33-1 児 童 数 560人
 校 長 星野 正義 学 級 数 22学級
 教 頭 人見 礼子 教 職 員 数 47人
 創 立 昭和 55 年 4 月 1 日 開校記念日 11 月 8 日



PBL 授業

● 本校の特色

本校は、地域に愛され地域に支えられた創立 47 年目の学校である。戸田市の西北にあり、通学区域内に首都高速、東京外郭環状道路、通学区域内に接して新大宮バイパスが走る交通の要所にある。

校内には、季節を彩る草花が咲き誇り、緑豊かな樹木の茂る整った教育環境のもと、落ち着いた雰囲気の中で、学校応援団による読み聞かせ(おはなしくまさん)や外部人材との連携を図った PBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)など、地域や社会とのつながりを活かした教育活動に取り組んでいる。

● 校訓と学校教育目標

かしこく(正しく考える子ども) やさしく(思いやりのある子ども) たくましく(元気な明るい子ども)

● 本年度の研究テーマ

自律した学習者の育成 ～多様な児童を包摂する柔軟な教育課程の編成～



戸田市立芦原小学校

所在地 新曽 1961 児 童 数 608 人
 校 長 大沼 公子 学 級 数 21 学級
 教 頭 武田 吉司 教 職 員 数 44 人
 創 立 平成 17 年 4 月 1 日 開校記念日 11 月 1 日



インクルーシブ教育実現に向けた難聴体験(1 年)

● 本校の特色

本校は、開校 22 年目、JR 埼京線北戸田駅西口から徒歩 5 分に位置する学校施設と生涯学習施設との複合型施設である。コミュニティ・スクールの実施を通して、外部人材や地域の環境等を積極的に活用するなど、学校・家庭・地域のパートナーシップでつくる教育活動を実践している。本校の特徴であるオープンスペースとなっている教室や廊下等、多様な空間を活用したグループ学習や充実した ICT 環境を活かした学習とともに、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりや生活科、総合的な学習の時間を中心とした PBL の研究等を積極的に推進している。

● 校訓と学校教育目標

- まなびあい(知) 学び 磨き合う子
- みとめあい(徳) 信じ 支え合う子
- きたえあい(体) 励み 鍛え合う子

児童一人一人の可能性を最大限に引き出し伸ばし共生社会の形成者を育成する学校

● 本年度の研究テーマ

「挑戦する学び～試行錯誤を通じた挑戦する姿勢の育成～」



戸田市立戸田中学校

所在地 本町 5-8-46 生徒数 622人
 校長 高田 ひろみ 学級数 21学級
 教頭 真島 清貴 教職員数 62人
 創立 昭和22年4月1日 開校記念日 5月1日



授業でのICT活用

本校の特色

本校は、今年度で開校80年目を迎えた、市内で最も歴史のある中学校です。生徒数622人、通常学級18学級・特別支援学級3学級の学校です。埼京線戸田公園駅西口から徒歩7分の距離にあり、昭和39年開催の東京オリンピック・ボートコースに隣接しています。校章は「ボートのオール」をかたどっています。また、日本初のインテル® SFI 認定校でもあります。

本校は、幸せを創り出す学校を目指し、学校教育目標に『共創』を掲げ、教育活動を推進しています。令和7年度から令和9年度までの3年間、戸田市教育委員会より委嘱を受け、「自ら人生を切り拓く生徒」の育成を目指します。

● 校訓と学校教育目標

「共創」

● 本年度の研究テーマ

「自走・貢献・挑戦」を通した自ら人生を切り拓く生徒の育成

～PBL・STEAMによる縦と横の「つながり」を軸にした実践～



戸田市立戸田東中学校

所在地 下戸田 1-11-15 生徒数 653人
 校長 片岡 昭博 学級数 22学級
 教頭 井原 聡 教職員数 58人
 創立 昭和35年4月1日 開校記念日 5月18日



東雲学習スタイルの様子

● 本校の特色

本校は、市の東部に位置し蕨市、川口市と隣接する閑静な住宅地の中にある開校67年目の学校です。学校教育目標を「グローバル社会で、将来、豊かに生き活躍できる児童生徒の育成」とし、目指す生徒像「豊かな人間性を持つ生徒」「可能性に挑戦し続ける生徒」「主体的に学び続ける生徒」の実現に向け、全教職員が一丸となって教育活動に取り組んでいる。未来のグローバル社会を見据え、実社会で活躍するために必要な資質・能力を育成するため、個別最適な学び・協働的な学び・探究的な学びを軸とした東雲授業スタイルを展開し、グローバルスキルの育成に向け日々挑戦している学校である。

● 学校教育目標

「グローバル社会で、将来、豊かに生き活躍できる児童生徒の育成」

生徒に身に付けさせたいグローバルスキル（21世紀型スキル・汎用的スキル・非認知スキル）

● 本年度の研究テーマ

「未来社会を創造する児童生徒の育成」



戸田市立美笹中学校

所在地 美女木 5-12-6 生徒数 282人
校長 大森 雅彦 学級数 11学級
教頭 岩崎 貴紘 教職員数 40人
創立 昭和22年4月1日 開校記念日 5月24日



NIE の授業風景

● 本校の特色

本校は、市の北西部に位置し、荒川に隣接した彩湖・道満グリーンパークにも近い、自然に恵まれた学校である。また、創立80年を迎え約1万名の卒業生を送り出している市内で2番目に歴史のある伝統校である。さらに、保護者の中に本校の卒業生が多く、地域とともにある学校でもある。「朝のあいさつ運動」「学校応援団」等の活動では、多くの保護者や地域の方々の御協力を得ることができている。

● 学校教育目標

学校教育目標「主体的に学ぶ生徒」「心豊かな生徒」「健康でたくましい生徒」の下、「自信と誇りを育む美笹中～生徒の「好き」を育み、「得意」を伸ばす学校～」を目指す学校像とし、教職員は、授業改善、生徒指導の充実、進路指導の体系化、保護者・地域との連携を通して、生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばすため、「チーム美笹中」としてチームワークを大切に、日々の教育活動に取り組んでいる。

● 本年度の研究テーマ

「自律した学習者を育む「学びのデザイン」の追求～多様な生徒を包摂する柔軟な教育課程の編成・実施～」



戸田市立喜沢中学校

所在地 喜沢南 1-6-29 生徒数 463人
校長 松永 由美子 学級数 15学級
教頭 春山 敦 教職員数 52人
創立 昭和50年4月1日 開校記念日 7月12日



PBL の授業実践

● 本校の特色

本校は、開校52年目を迎えた、生徒数463名、15学級(内特別支援学級2学級)の中規模校である。一人一人のWell-beingを実現する学校を目指し、「やってみよう・ありがとう・なんとかなる・ありのままに」をキーワードとして、全教育活動を通じて「未来を生きる心・体力・学力」を育成している。

また、生徒の主体性や協働性を高めるため、心理的安全性を確保した対話的な学び、PBL(課題発見・解決型学習)、ライフスキルを教育課程に組み込み、予測不能な未来社会をしなやかに、自分らしく切り拓いていく生徒を学校・家庭・地域がスクラムを組んで育成している学校である。

● 学校教育目標

「自ら学び、認め合い、しなやかに未来を切り拓く生徒の育成」
～共にWell-beingを創り出す喜沢中生～

● 本年度の研究テーマ

「ウェルビーイングを実現し、他者と協働する力を身に付けた生徒の育成」
～他者と関わりながら、共に学び人間性を涵養する学級経営と授業づくり～



戸田市立新曽中学校

所在地 新曽 1448 生徒数 964人
 校長 渡部 淳子 学級数 30学級
 教頭 崎山 英則・廣川 隼志 教職員数 81人
 創立 昭和53年4月1日 開校記念日 11月4日



小中合同防災万博の様子

● 本校の特色

本校では、生徒が主語となる学びを目指し、認め合い、支え合い、高め合う学校づくりに取り組んでいる。また、「すべての教育活動は生徒のためにある」と捉え、「未来の自分に誇れる今を 自律・尊重・挑戦」を目指す生徒像とし、今の積み重ねを大切にしながら、「主体的に学び、社会に貢献する生徒」の育成を目指している。併せて、今年度も校内課題研究として戸田型 PBL の手法をベースにしながら、全教科において「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の研究を推進していく。

部活動は文化部が7、運動部が13。関東・全国大会をはじめ、各種コンクール等での上位入賞などの目標に向け、各部が熱心に活動している。今年度もコミュニティ・スクールに相応しい、地域に開かれた新曽中を創り上げていく。

● 学校教育目標

主体的に学び、社会に貢献する生徒の育成～未来の自分に誇れる今を 自律・尊重・挑戦～

● 本年度の研究テーマ

主体的に学び、行動する生徒の育成～教科指導における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現～



戸田市立笹目中学校

所在地 笹目 4-38-1 生徒数 653人
 校長 長野 真吾 学級数 23学級
 教頭 月出 達也 教職員数 60人
 創立 昭和54年4月1日 開校記念日 10月18日



理科の授業の様子

本校の特色

本校は開校48年目を迎えた中規模校である。近くには東京外郭環状道路や首都高速大宮線が通り交通の要所となっている。本校では、保護者の期待、地域の信託に応えるよう、地域に誇れる信頼された学校づくりに取り組んでいる。「正解のない問い」に挑む力を育む教育を推進し、多様な幸せを体現する学校づくりを目指している。また、主役である笹中生が自分事で学び協働できる資質・能力を育み、夢や希望に向かって、自信をもって新しい価値を創造できる教育を推進している。生徒会を中心に、生徒の活動を活発化させる3S活動・笹中生5つのGoalsなど、主体的な活動が増えている。

● 学校教育目標

「未来を見据え 今を生きる ～自立・協働・創造～」

● 本年度の研究テーマ

「学び続ける生徒を目指して ～“Study”から“Learn”へ～」

4 參考資料

4 - 1 教育施設一覧

教育施設名	住所	電話番号
戸田市教育委員会事務局	戸田市上戸田 1-18-1	048-441-1800
戸田市立戸田第一小学校	戸田市上戸田 3-7-5	048-442-2268
戸田市立戸田第二小学校	戸田市喜沢南 2-2-37	048-442-2675
戸田市立新曽小学校	戸田市新曽南 2-13-8	048-442-2774
戸田市立美谷本小学校	戸田市美女木 7-11-3	048-421-3010
戸田市立笹目小学校	戸田市笹目 6-9-1	048-421-3524
戸田市立戸田東小学校	戸田市下戸田 1-11-15	048-442-3911
戸田市立戸田南小学校	戸田市本町 4-8-2	048-442-6384
戸田市立喜沢小学校	戸田市喜沢 1-48-6	048-442-6383
戸田市立笹目東小学校	戸田市笹目 3-17-12	048-421-6674
戸田市立新曽北小学校	戸田市大字新曽 1367	048-442-3849
戸田市立美女木小学校	戸田市美女木 2-33-1	048-421-1037
戸田市立芦原小学校	戸田市大字新曽 1961	048-420-2226
戸田市立戸田中学校	戸田市本町 5-8-46	048-442-2627
戸田市立戸田東中学校	戸田市下戸田 1-11-15	048-442-5844
戸田市立美笹中学校	戸田市美女木 5-12-6	048-421-3011
戸田市立喜沢中学校	戸田市喜沢南 1-6-29	048-444-6400
戸田市立新曽中学校	戸田市大字新曽 1448	048-443-4512
戸田市立笹目中学校	戸田市笹目 4-38-1	048-421-1462
埼玉県立戸田翔陽高等学校	戸田市大字新曽 1093	048-442-4963
埼玉県立南稜高等学校	戸田市美女木 4-23-4	048-421-1211
蕨戸田市医師会看護専門学校	戸田市大字新曽 1295-3	048-445-2620
戸田中央看護専門学校	戸田市本町 1-8-16	048-441-4279
戸田幼稚園	戸田市本町 1-12-8	048-444-2220
戸田第一幼稚園	戸田市本町 1-30-7	048-441-3031
つつじ幼稚園	戸田市本町 4-2-6	048-441-5765
まきば幼稚園	戸田市笹目南町 17-5	048-421-6637
戸田ひまわり幼稚園	戸田市美女木 1-8-7	048-421-4949
ささめ幼稚園	戸田市笹目 6-5-24	048-421-5437

戸田東幼稚園	戸田市中町 1-15-10	048-441-6612
カトレア幼稚園	戸田市大字新曽 183	048-444-6843
はごろも幼稚園	戸田市下戸田 2-22-11	048-444-5065
戸田東第二幼稚園	戸田市大字新曽 2279-3	048-430-2015
戸田市立教育センター	戸田市上戸田 1-19-14	048-434-5660
芦原小学校生涯学習施設	戸田市大字新曽 1961	048-432-6123
戸田市児童センター こどもの国	戸田市本町 1-17-7	048-443-2387
戸田市立児童センター プリムローズ	戸田市笹目 2-19-14	048-422-1033
戸田市スポーツセンター	戸田市大字新曽 1286	048-443-3523
戸田市立美笹公民館	戸田市美女木 5-2-16	048-421-3024
戸田市立下戸田公民館	戸田市下前 1-2-20	048-443-1021
戸田市立新曽公民館	戸田市大字新曽 1395	048-445-1811
戸田市立学校給食センター	戸田市新曽南 4-3-45	048-442-5065
戸田市立中央図書館	戸田市大字新曽 1707	048-442-2800
戸田市立図書館上戸田分館	戸田市上戸田 2-21-1	048-442-1211
戸田市立図書館下戸田分室	戸田市下前 1-2-20	048-442-1228
戸田市立図書館下戸田南分室	戸田市川岸 2-4-8	048-443-1500
戸田市立図書館美笹分室	戸田市美女木 5-2-16	048-421-6737
戸田市立図書館 戸田公園駅前配本所	戸田市本町 4-15-11	048-420-9746
戸田市立郷土博物館	戸田市大字新曽 1707	048-443-5600
戸田市アーカイブズ・センター	戸田市大字新曽 1707	048-443-5600
彩湖自然学習センター	戸田市大字内谷 2887	048-422-9991

4 - 2 市内学区一覧

学校名	通学区域
戸田第一小学校	上戸田 1～5 丁目、本町 1 丁目(1～3、8～13、18～23)、 本町 2 丁目(1～3、5～8)、本町 3 丁目(13～15)、大字上戸田
戸田第二小学校	喜沢南 1・2 丁目、川岸 1・2 丁目、中町 2 丁目、下前 1 丁目(3～6、12、13)、 下前 2 丁目
新曽小学校	氷川町 1～3 丁目、新曽南 1～4 丁目
美谷本小学校	美女木 1・5～8 丁目
笹目小学校	笹目 5～8 丁目、早瀬 2 丁目
戸田東小学校	下戸田 1・2 丁目、中町 1 丁目(1～18、25～34)、 下前 1 丁目(1、2、7～11、14、15)
戸田南小学校	本町 1 丁目(4～7、14～17、24、25)、本町 2 丁目(4、9～16)、 本町 3 丁目(1～12)、本町 4・5 丁目、川岸 3 丁目、南町、戸田公園
喜沢小学校	喜沢 1・2 丁目、中町 1 丁目(19～24)
笹目東小学校	笹目 1～4 丁目、早瀬 1 丁目、笹目南町
新曽北小学校	大字新曽(17～128、172～363、401～684、726～822、872～1110、 1164～1276、1353～1443、1679～1893、2077～2098、 2325～2504、2528～2593)
美女木小学校	美女木 2～4 丁目、笹目北町、美女木東 1・2 丁目、美女木北 1～3 丁目
芦原小学校	大字新曽(1～16、129～171、364～400、685～725、823～871、 1111～1163、1277～1352、1444～1678、1894～2076、 2099～2324、2505～2527)、大字下笹目
戸田中学校	上戸田 1～5 丁目、本町 1～5 丁目、川岸 3 丁目、南町、戸田公園
戸田東中学校	喜沢 1 丁目、中町 1 丁目、下戸田 1・2 丁目、下前 1 丁目(1、2、7～11、14、15)
美笹中学校	美女木 1・2・5～8 丁目、笹目 5～8 丁目、早瀬 2 丁目
喜沢中学校	喜沢 2 丁目、喜沢南 1・2 丁目、川岸 1・2 丁目、中町 2 丁目、 下前 1 丁目(3～6、12、13)、下前 2 丁目
新曽中学校	氷川町 1～3 丁目、新曽南 1～4 丁目、大字新曽、大字下笹目、大字上戸田
笹目中学校	笹目 1～4 丁目、早瀬 1 丁目、笹目南町、笹目北町、美女木 3・4 丁目、 美女木東 1・2 丁目、美女木北 1～3 丁目

令和8年度 教育要覧 戸田市の教育

発行年月 令和8年9月

編集・発行 戸田市教育委員会

〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1-18-1

TEL 048-441-1800 FAX 048-443-9033

ホームページ <https://www.toda-c.ed.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/todaedu>

Note https://note.com/toda_boe



戸 田 市 教 育 委 員 会